

# Network Print Monitor 操作手順書

# 使用条件

本書のすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。 本書に含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題に も、当社は責任を負いません。

#### 商標について

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、および Active Directory<sup>®</sup>は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

ここで使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する 各企業の登録商標または商標です。

# 目次

# 第1章:製品概要

| ドキュメント | 1-1 |
|--------|-----|
| 規則     | 1-1 |
| システム要件 | 1-1 |

# 第2章:作業の開始

| 起動およびログインする             | 2-1  |
|-------------------------|------|
| ワークスペース                 |      |
| 新規ワークスペースを追加する          | 2-1  |
| 既存のワークスペースを開く           | 2-2  |
| ワークスペースのインポート/エクスポート    | 2-2  |
| 最近使用したワークスペースを表示または復元する | 2-3  |
| デバイスの検出                 |      |
| デバイスを追加する               | 2-3  |
| 自動デバイス検出をスケジュールする       |      |
| 検出からデバイスを除外する           | 2-5  |
| ユーザーインターフェイス            |      |
| 管理者ログイン                 |      |
| オプション                   | 2-7  |
| メール設定を編集する              | 2-7  |
| 認証設定を編集する               | 2-8  |
| デフォルトのデバイスポーリング設定を編集する  | 2-8  |
| SNMP トラップ設定を編集する        | 2-8  |
| デフォルトの部門ポーリング設定を編集する    | 2-9  |
| ログの管理設定を編集する            |      |
| プロキシー設定を編集する            | 2-10 |
| 監査ログレコードを表示する           | 2-10 |

# 第3章:ビュー

| マイビュー                     |     |
|---------------------------|-----|
| カスタムビューを追加する              |     |
| 新規フォルダーを追加する              |     |
| フォルダーまたはビューの名前を変更する       |     |
| デバイス、部門、またはホストを削除する       | 3-3 |
| ビューを更新し保存する               | 3-3 |
| ビューを複製する                  | 3-3 |
| ビューを削除する                  | 3-3 |
| デフォルトビュー                  | 3-4 |
| マップビューをカスタマイズする           | 3-5 |
| 表示、リスト、およびデバイス情報をエクスポートする | 3-6 |

| ビューを更新する              | 3-6 |
|-----------------------|-----|
| フォルダーレポートを作成しエクスポートする | 3-6 |
| 検索                    | 3-7 |
| 検索で情報を探す              | 3-7 |
| アドバンストサーチで情報を探す       | 3-8 |

# 第4章:デバイス

| デバイスプロパティーを表示する            | 4-1  |
|----------------------------|------|
| デバイスのホームページを表示する           | 4-2  |
| デバイスプロパティーのレポート            | 4-2  |
| デバイスプロパティーのレポートを作成する       | 4-3  |
| デバイスプロパティーのレポート設定を表示し変更する  | 4-3  |
| 証明書を管理する                   | 4-3  |
| 1 台のデバイス上で証明書を管理する         | 4-3  |
| 複数のデバイス上で証明書を管理する          |      |
| アドレス帳                      |      |
| 個人アドレスを追加する                |      |
| グループを追加する                  |      |
| グループに個人アドレスを追加する           |      |
| ワンタッチキー                    |      |
| 個人アドレスとグループをコピーする          |      |
| アドレス帳リストをエクスポートする          |      |
| アドレス帳を検索する                 |      |
| デバイスユーザー                   | 4-13 |
| デバイスユーザーを追加する              | 4-13 |
| デバイスのユーザーリストをエクスポートする      | 4-14 |
| デバイスユーザリストを検索する            | 4-15 |
| 簡単口グインキーを設定する              | 4-15 |
| 簡単ログインキーリストを検索する           | 4-16 |
| ジョブ                        | 4-16 |
| ジョブの詳細の表示                  |      |
| ジョブ履歴をエクスポートする             |      |
| ジョブリストを検索する                |      |
| ジョブ保留                      |      |
| ジョブ保留を印刷する                 |      |
| ジョブ保留リストを印刷する              | 4-18 |
| ジョブ保留を削除する                 |      |
| ジョブ保留を検索する                 |      |
| 文書ボックス                     | 4-18 |
| 文書ボックスを追加します               |      |
| 文書ボックスのリストをエクスポートする        | 4-20 |
| 文書のプロパティーを表示する             |      |
| 文書を表示する                    | 4-21 |
| 文書をダウンロードする                | 4-21 |
| 文書ボックスを検索する                | 4-22 |
| 文書ボックスを他のボックスに移動する         | 4-22 |
| バーチャルメールボックス               |      |
| バーチャルメールボックスを追加する          |      |
| バーチャルメールボックスを検索する          |      |
| バーチャルメールボックスリストをエクスポートする   |      |
| バーチャルメールボックス拡張機能オプションを設定する |      |
| デバイスアプリケーション               |      |
| アプリケーションを1台のデバイスで管理する      |      |
| アプリケーションを複数のデバイスで管理する      |      |
| アプリケーションを検索する              |      |
|                            |      |

| デバイス通知を設定する                     | 4-30 |
|---------------------------------|------|
| デバイス通信設定を構成する                   | 4-30 |
| 拡張機能メニュー                        | 4-33 |
| デバイスマルチセット                      | 4-35 |
| デバイスまたはデバイスネットワークインターフェイスを再起動する | 4-38 |
| オプション機能を管理                      | 4-38 |
| ファームウェアをアップグレードする               |      |
| 認証設定を構成する                       |      |
| ネットワークグループ                      | 4-43 |
| TCP/IP データを送信する                 | 4-45 |
| リモートサービスを有効にする                  |      |
| デバイスを登録する                       |      |

# 第5章:部門

| デバイスを管理する                | 5-1 |
|--------------------------|-----|
| 部門デバイスを追加する              | 5-1 |
| 新規部門を作成する                | 5-1 |
| 部門とデバイスを表示する             | 5-2 |
| 部門のプロパティーを表示する           | 5-2 |
| 現在の部門の詳細をエクスポートする        | 5-3 |
| 特定のデバイスまたは部門の詳細をエクスポートする | 5-4 |
| カウンターレポートを追加する           | 5-5 |
| 部門カウンターステータス通知を設定する      |     |
| デバイスの部門管理設定を構成する         | 5-7 |
| 部門のマルチャット                | 5-7 |
|                          |     |

# 第6章:ホスト

| ホストの検出                      | 6-1   |
|-----------------------------|-------|
| ホストサービスを有効にする               | 6-1   |
| ホストを追加する                    |       |
| 自動ホスト検出のスケジュールを設定する         | 6-3   |
| 検出からホストを除外する                |       |
| キューを追加する                    | 6-4   |
| キュー名を編集する                   |       |
| プリンタードライバーの管理               | 6-6   |
| プリントスプーラーにクライアント接続を許可する     |       |
| リモート管理の例外を許可する              |       |
| プリンタードライバーをインストールする         |       |
| プリンタードライバーをアップグレードする        |       |
| プリンタードライバーをアンインストールする       | 6-11  |
| 追加のプリンタードライバーバージョンをインストールする | 56-11 |
| プリンタードライバーまたは印刷キューを表示する     | 6-12  |
| ホストログイン設定を変更する              |       |
| ドメイン管理者のログイン設定を選択する         | 6-13  |
| ホスト情報をエクスポートする              |       |
| デバイス設定を構成する                 | 6-13  |

# 1 製品概要

[Network Print Monitor] アプリケーションを使用すると、ネットワークのデバイス 情報を整理および監視できます。

#### ドキュメント

本ガイドは、アプリケーションの機能と設定の使用方法について説明します。

お使いのデバイスによっては、機能およびオプションが異なる場合があります。

本ガイドは、システム管理者と他のすべてのユーザーを対象としています。

#### 規則

本書では、次の規則を使用します。

- ・ メニュー項目とボタンは、【メニュー項目/ボタン名】のように示します。
- 画面、テキストボックス、およびドロップダウンメニューのタイトルは、画面上 で表示されるとおりに表記します。
- ドキュメントのタイトルは、『』で示します。
- アイコンは、特定の情報に注意を向けるために使用されます。次のような例があります。

この「メモ」アイコンは、知っておくと便利な情報を示します。
 この「注意」アイコンは、知っておく必要のある重要な情報を示します。これには、手順が適切に行われなかった場合のデータ消失などが含まれます。
 この「ヒント」アイコンは、必須ではないが、実用的で便利な情報を示します。

## システム要件

Product Library のリリースノート、またはアプリケーションに付属の Readme ファ イルを参照してください。

# 2 作業の開始

デフォルトおよびカスタムのビューからさまざまな機能を使用して、ネットワーク上 のデバイス情報を整理し、監視できます。開始するには、ログインし、ネットワーク 上のデバイスを検出してワークスペースをセットアップします。

#### 起動およびログインする

- 1 アプリケーションを開きます。
- 2 次のいずれかを行います。
  - 管理者権限を持っている場合、ログイン情報の入力が必要になる場合があります。



アプリケーションでは、最後に保存したワークスペースが開きます。

• 管理者権限を持っていない、または初めてアプリケーションを開く場合 は、以下を行います。



ネットワーク管理者によるログイン情報の設定が必要な場合が あります。

- a. ワークスペースフォルダーの場所を指定して、[OK] を選択します。
- b. ワークスペースにデバイスを追加します。詳細については、『デバイ スの検出』の項を参照してください。

[ファイル]>[ウインドウを閉じる]を選択すると、アプリケーションは 引き続きシステムトレイで実行されます。

ワークスペース

デバイス情報と設定を収集し、表示します。ワークスペースのデータは、デバイスリ ストまたはマップ、および画面のナビゲーションペインに表示されます。

ワークスペースは、ログイン情報で識別されます。ユーザーがアプリケーションを開 くと、そのユーザーの履歴から最後に使用したワープスペースが自動的に開きます。 ユーザーがアプリケーションを閉じると、ワークスペースは自動的に保存されます。 必要なワークスペースは1つだけですが、異なるデバイスが複数の場所にある場合 は、追加のワークスペースを定義することもできます。

## 新規ワークスペースを追加する

1 【ファイル】> 【新規のワークスペース】 に移動します。

- 2 【はい】を選択します。
- ワークスペースフォルダーの場所を指定します。
- **4** [OK] を選択します。 アプリケーションが再起動します。

既存のワークスペースを開く

本アプリケーションの旧バージョン用に作成されたワークスペースは新 しいバージョンに変換され、元に戻すことはできません。

- 1 [ファイル]>[ワークスペースを開く]に移動します。
- 2 【はい】 を選択します。
- ワークスペースフォルダーの場所を指定します。
- **4** [OK] を選択します。

アプリケーションが再起動します。

#### ワークスペースのインポート/エクスポート

ワークスペースのファイル名拡張子は、インポートソースによって異なります。

| インポートソース                    | ファイル名拡張子 |
|-----------------------------|----------|
| バージョン 4.x                   | .kv3     |
| バージョン 5 以降                  | .kvx     |
| Network Tool for Accounting | .xml     |

古いバージョンからデバイスデータとユーザーインターフェイス情報を再利用するに は、古いワークスペースをインポートし、新しいワークスペースに変換します。他の ユーザーとワークスペースを共有している場合、アプリケーションは、データ整合性 を保護するため、管理者を含む他のユーザーがワークスペースにアクセスできないよ うにします。

#### ファイルを新規のワークスペースヘインポートする

- 1 【ファイル】>【新規のワークスペースヘインポート】に移動します。
- 2 インポートするファイルを参照します。



**3** ワークスペースフォルダーの場所を指定します。

**4** [OK] を選択します。

#### ワークスペースをエクスポートする

- 1 [ファイル]>[エクスポート]>[ワークスペース]に移動します。
- **2** ファイル名を入力して、エクスポート先を指定します。
- 3 [保存] > [OK] を選択します。

最近使用したワークスペースを表示または復元する

最近使用した5つのワークスペースのみがリストに表示されます。

- 1 [ファイル]>[最近使用したワークスペース]に移動します。
- 2 リストからワークスペースを選択して、[はい]を選択します。

アプリケーションが再起動します。

#### デバイスの検出

この機能を使うと、ネットワーク上のデバイスを確認することができます。新しい デバイスが検出されると、アプリケーションはそのデバイスに関する情報でデータ ベースを更新します。1つまたは複数のデバイスを手動で検出するか、設定したスケ ジュールに基づいて自動検出を実行することができます。また、デバイスを検出から 除外することもできます。

アプリケーションを最初に起動するとき、または新規ワークスペースを開いたとき は、「デバイスを追加」ウィザードが自動的に起動されます。

デバイスを追加する

- 1 [デバイス]>[検出]>[デバイスを追加]に移動します。
- 2 オプションを選択して、[次へ] を選択します。

エクスプレス

あらかじめ定義された通信設定を使用して、ローカルネットワーク内の デバイスを検出します。

カスタム

a. 次の検出オプションから選択します。

| オプション   | アクション   |
|---|---|
| ローカルネットワーク上で検<br>索  | 次のローカルネットワークの<br>検出タイプから選択します。  |
| ドメイン内の IPv4 と<br>IPv6 アドレスを使用し<br>て、ローカルネットワー<br>ク上のすべてのデバイス<br>をスキャンします。 | <ul><li>IPv4</li><li>IPv6</li></ul>   |
| IP アドレスで検索<br>ドメイン内の特定のアド<br>レスを使用してデバイス<br>をスキャンします。                     | <ul> <li>次の方法から選択します。</li> <li>IPv4 または IPv6 アドレス、またはホスト名を入力し、[追加]を選択して「選択されたターゲット」リストに追加します。</li> <li>[インポート]を選択して、IP アドレスリストを使用します。</li> <li>「選択されたターゲット」リストから IP アドレスまたはホスト名を削除するには、IP アドレスまたはホスト名を選択してから、[削除]を選択します。</li> </ul> |
| IP アドレス範囲で検索<br>ドメイン内の指定の IP<br>アドレス範囲ですべての<br>デバイスをスキャンしま<br>す。          | <ul> <li>IPv4 または IPv6 の開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力し、[追加]を選択して「選択されたネットワークセグメント」リストに追加します。</li> <li>IP アドレス範囲を削除するには、「選択されたネットワークセグメント」リストで選択してから、[削除]を選択します。</li> </ul>   |

**c.** 定期検出のスケジュールを設定するか、[次へ] を選択してすぐに 開始します。

3 詳細を確認して、[完了]を選択します。

b.

#### 自動デバイス検出をスケジュールする

定期的な検出処理を実行するよう、スケジュールを設定します。デバイスがネット ワークに頻繁に追加あるいは削除される場合、定期的に検出を実行するとデバイス データベースを最新の状態に保つことができます。

- 1 [デバイス] > [検出] > [自動検出] に移動します。
- スケジュールされている検出」ダイアログボックスで、次のいずれかを行います。
  - 新しい検出モードを作成するには、[追加]を選択します。定期検出のスケジュールを設定して、[完了]を選択します。
  - 検出のスケジュールを削除するには、[削除]を選択します。
  - 既存の検出モードを編集するには、[プロパティー]を選択します。定期検出 のスケジュールを設定して、[変更を適用]を選択します。
- 3 [閉じる]を選択します。

#### 検出からデバイスを除外する

セキュリティーに関する理由で、デバイスを検出処理から除外し、ビューから削除で きます。除外されたデバイスの情報は、アプリケーションから削除されません。

- 1 任意のデバイスビューまたは部門デバイスビューから、除外するデバイスを選択します。
- 2 選択したデバイスを右クリックし、 [デバイスの削除] を選択します。

削除されたデバイスを追加するには、[デバイス]>[検出]>[除外されたデバイス]に 移動し、1つ以上のエントリーを選択して、[デバイスを含める]を選択します。

## ユーザーインターフェイス

ユーザーインターフェイスは、ネットワークデバイス、デバイスの部門、およびデバ イスドライバーがインストールされるホストコンピューターについての情報が表示さ れます。

#### メインメニュー

メインメニューはウィンドウの一番上にあります。このメニューでアプリケー ションに対する基本的な操作を行います。

#### ツールバー

各ビューはメインメニューの下にツールバーを表示します。ツールバーには、 デバイス、部門、ホストを管理および編集するタスク等、各ビューでよく使わ れるタスクのアイコンが含まれます。各アイコンの上にマウスのカーソルを合 わせて、対応するタスクを表示します。

#### マイビュー

マイビューは、デフォルトビューまたは他のマイビューから作成できるリス トまたはマップです。マイビューはツリー形式で整理され、フォルダーとマイ ビューノードが表示されます。マイビューを使用して、表示する情報のタイプ をカスタマイズします。

マイビューでカスタムビューを選択すると、 別のペインにビュー (リストまた はマップ) が表示されます。フォルダーを作成して、マイビューを整理および 管理します。



デフォルトビュー

デフォルトビューは、読み取り専用の標準のリストまたはマップビューです。 特定のデフォルトビューを選択すると、別のペインにビュー (リストまたは マップ)が表示されます。一部のデバイスビューオプションは、リストビュー のみで使用でき、マップビューでは使用できません。

リストまたはマップビュー

選択したビューに応じて、デバイス、部門、またはホストのリストがウィンド ウ上に表示されます。カスタマイズ可能なこのリストは、ユーザーが整理でき る情報を提供します。「デバイス」のリストビューの各行を展開して、詳細な 情報を表示します。マップビューを使用してカスタムマップの背景にデバイス を表示することもできます。

#### ステータスアイコンを識別する

デバイスおよびホストのリストビューにあるステータスアイコンには、各デバイスのステータスに関する説明が表示されます。三角形のアイコンを選択して行を展開すると、ステータスについての説明が表示されます。

リストビューをカスタマイズする

ビューをカスタマイズし、マイビューで保存されたデバイス、 部門、およびホストのリストビューの情報を調整します。 ビューをカスタマイズした後、【ビューの更新】を選択します。 デフォルトビューに対する変更は、ビューを終了した後は保存 されません。

#### 管理者ログイン

一部のデバイスでは、選択した機能にアクセスするには、管理者認証が必要です。お使いのデバイスによっては、使用可能な機能が異なる場合があります。メニューから機能を選択する際、次のいずれかを入力するよう求められる場合があります。

- Embedded Web Server パスワード
- 管理者ログインとパスワード(「ローカル認証を使用」のオプションを含む)
- 部門管理者コード

複数のデバイスに対して操作を行うと、管理者のログイン用のダイアログが表示され ません。ログインのオプションは、通信設定ダイアログボックスのログインセクショ ンで設定する必要があります。

# オプション

アプリケーションの以下のオプション設定を構成します。

| オプション               | 説明  |
|---------------------|---|
| 【メール設定】             | メールサーバー、認証、および送信者情<br>報を設定します                             |
| [認証]                | コンピューターの管理者権限を持って<br>いないユーザーに対して、ローカルパス<br>ワードを設定または変更します |
| 【デフォルトのデバイスポーリング設定】 | 新規デバイスのデフォルトのデバイス<br>ポーリング設定を特定の間隔で指定しま<br>す              |
| [トラップ]              | トラップサーバーの設定を構成します   |
| 【デフォルトの部門ポーリング設定】   | 新規デバイスの部門カウンターポーリン<br>グ設定を指定します                           |
| [ログの管理設定]           | 監査ログを削除するスケジュールを設定<br>します                                 |
| [プロキシー設定]           | リモートネットワーク上のデバイスと通<br>信するためのプロキシーサーバー設定を<br>選択します         |

メール設定を編集する

- 1 [編集] > [オプション] に移動します。
- 2 【メール設定】を選択します。
- 3 次を行います。
  - a. ホストで、SMTP (メール) サーバー名を入力します。
  - **b.** ポートで、ポート番号を入力します。
- 4 必要に応じて、[認証が必要]を選択し、ログイン情報を入力します。
- 5 送信者名と送信者のアドレスを入力します。
- 6 SMTP サーバーへのデバイス接続をテストするには、[接続のテスト]を選択します。
  - ・ エラーが発生する場合、ホスト名とポート番号を修正して、接続のテストを繰り返します。
    - 接続のテストは、ログイン情報の有効性を確認しません。

**7** [OK] を選択します。

認証設定を編集する

この設定を有効にするには、管理者としてアプリケーションを実行する必要があります。

- 1 [編集] > [オプション] に移動します。
- 2 [認証]>[ローカルパスワードを有効にする]を選択します。
- **3** ローカルユーザーのパスワードを入力し、確認します。
- **4** [OK] を選択します。

■ 最小要件を満たしていないパスワードでも保存できます。

デフォルトのデバイスポーリング設定を編集する

この設定では、新規デバイスのデフォルトのポーリング設定を設定できます。



- 1 [編集] > [オプション] に移動します。
- 2 [デフォルトのデバイスポーリング設定] を選択します。
- 3 次の設定に間隔を指定します。
  - ステータスのポーリング
  - カウンターのポーリング
  - トナー量のポーリング
- **4** [OK] を選択します。

#### SNMP トラップ設定を編集する

SNMP プロトコルは、ネットワーク環境内で管理情報を提供および転送します。エ ラーが発生する場合、デバイスは自動的にトラップを生成し、あらかじめ定義された トラップ受信者にエラーメッセージを送信します。

トラップサーバーは、アプリケーション内で実行される SNMP トラップパケットレ シーバーです。トラップパケットを受信するには、トラップサーバーを起動し、デバ イス上で SNMP トラップを構成します。

TCP ポート 162 が使用可能で、ファイアウォールにブロックされていな い必要があります。

1 [編集] > [オプション] に移動します。

- 2 [トラップ]を選択します。
- 3 次のいずれかを行います。
  - ・ トラップサーバーが実行されていない場合、[開始]を選択します。
    - サーバー接続が失敗する場合は、アプリケーションのログファ イルでエラーメッセージを確認します。エラーを解決して、ト ラップサーバーを再起動します。
  - ・ トラップサーバーが実行されている場合、[停止]を選択します。
- 4 トラップコミュニティー名を入力します。 これにより、アプリケーションで保存されたトラップコミュニティーと同じコ ミュニティー名を持つ SNMP トラップパケットを受信できます。
- 5 必要に応じて、【プログラムの起動時にトラップサーバーを自動的に起動する】 を選択します。
- **6** [OK] を選択します。

デフォルトの部門ポーリング設定を編集する

- 1 [編集]>[オプション]に移動します。
- 2 [デフォルトの部門ポーリング設定]を選択します。
- 3 【新規デバイスのデフォルトの部門カウンターポーリング】を選択して、次を行います。
  - a) 【部門カウンターのポーリング間隔】 には、ポーリング情報の定期スケ ジュールを設定します。
  - b) 警告レベルを選択します。
- 4 [OK] を選択します。

#### ログの管理設定を編集する

- 1 [編集] > [オプション] に移動します。
- 2 [ログの管理設定]を選択します。
- 3 ログの保存期間を指定します。
- 4 必要に応じて、[クリア前にログレコードをエクスポート]を選択し、フォル ダーの場所を指定します。
- 5 [OK] を選択します。

保存されたログレコードのリストを表示するには、[ファイル]>[ログレ コードを開き監査]に移動します。 プロキシー設定を編集する

- 1 [編集]>[オプション]に移動します。
- 2 【プロキシー設定】 > 【オン】 を選択します。
- 3 使用する各プロトコルに、プロキシーアドレスとポート番号を入力します。
- **4** サーバーに認証が必要な場合は、[認証が必要]を選択します。ログイン情報を 指定します。
- 5 特定のドメインにプロキシーサーバーを使用しない場合は、「次のドメインに はプロキシーを使用しない」にドメイン名を指定します。



ドメイン名をセミコロンで区切ります。

**6** [OK] を選択します。

## 監査ログレコードを表示する

監査ログは、アプリケーションの実行または認証オプションの変更のたびに、自動的 に作成または保存されます。

- 1 [ファイル]>[ログレコードを開き監査]に移動します。
- 2 次のいずれかを行います。
  - ソート順を変更するには、列ヘッダーを選択します。
  - 特定の監査ログを検索します。
  - 監査ログレコードを.csv ファイルとして保存するには、【エクスポート】を 選択します。
  - リストを更新するには、[更新]を選択します。
- 3 [閉じる] を選択します。



# 3 ビュー

アプリケーションには次のビューがあります。

| ビュー      | 説明  |
|----------|---|
| マイビュー    | カスタムビューを作成、変更、または削除できます。                          |
| デフォルトビュー | 次の読み取り専用ビューが含まれます。                                |
|          | <ul> <li>デバイス</li> <li>部門</li> <li>ホスト</li> </ul> |
|          | リストの外観をカスタマイズできますが、ビューを終了する<br>と変更は保存されません。       |

任意のデバイスビューで、[表示]を選択することでビュータイプを切り替えることが できます。

マイビュー

カスタムビューをセットアップしてフォルダー内のアイテムを整理します。マイ ビューでは、表示されるデバイス、部門、ホスト、列の順序、列の数、およびその 他のビューの設定をカスタマイズします。ビューの変更後に「ビューの更新」を使用 して変更を保存します。マイビューにあるビューの管理アイコンを選択すると、オプ ション設定のメニューが開きます。

#### カスタムビューを追加する

選択したデバイス、部門、またはホストのカスタムビューを作成し、保存します。 カスタムビューは、次のいずれかのビュータイプから追加できます。

デバイス

一般、性能、カウンター、ファームウェア、固定資産、マップ

部門

部門デバイス、部門

ホスト

ホスト、ホストドライバー、ホストキュー

1 希望するビューに応じて、次を実行します。

| オプション   | アクション   |
|---|---|
| ダイナミックビュー<br>ダイナミックビューは、マイ<br>ビューで作成したデフォルト<br>ビューまたはカスタムビューの<br>コピーです。<br>マイビューでマ<br>ニュアルビュー<br>が選択されている<br>場合、ダイナミッ<br>クビューを作成す<br>ることはできませ<br>ん。 | <ul> <li>a. マイビューまたはデフォルト<br/>ビューから任意のビューを選択<br/>します。</li> <li>b. ビューを変更します。<br/>列の順序を変更したり、列を表<br/>示または非表示にしたりできま<br/>す。</li> <li>c. [ダイナミックビューを追加]を<br/>選択します。</li> </ul> |
| マニュアルビュー<br>マニュアルビューは、既存の<br>ビューから選択されたデバイ<br>ス、部門、またはホストを含む<br>カスタムビューです。<br>マニュアルビュー<br>では、アドバンス<br>トサーチは使用で<br>きません。                             | <ul> <li>a. 任意のビューから、デバイス、<br/>部門、またはホストを1つ以上<br/>選択します。</li> <li>b. [選択を使用してマニュアル<br/>ビューを追加]を選択します。</li> </ul>  |

**2** ビュー名を指定して、[Enter] キーを押します。

既存のマニュアルビューの場合、他のデバイス、部門、またはホストを 選択して他のビューから移動することで追加できます。

新規フォルダーを追加する

- 1 [ファイル]>[新規フォルダー]に移動します。
- **2** フォルダー名を指定して、[Enter] キーを押します。

フォルダーまたはビューの名前を変更する

- 1 マイビューで、フォルダーまたはビューを右クリックして、[名前を変更] を選 択します。
- 2 新しい名前を指定して、[Enter] キーを押します。

デバイス、部門、またはホストを削除する

デバイス、部門、またはホストを削除すると、カスタムビューで非表示になります。 データベースからはアイテムは削除されません。

- 1 マイビューから、マニュアルビューを選択します。
- 2 デバイス、部門、またはホストを1つ以上選択して、ビューから削除します。
- 3 [編集]>[ビューから削除する]を選択します。

「ビューから削除する」を選択した後、確認のダイアログボック スは表示されません。

ビューを更新し保存する

マイビューにあるビューを変更すると、そのビューを保存するまでタイトルバーの名 前の後にアスタリスクが表示されます。

次のいずれかを行ってから「ビューの更新」を使用します。

- 列の幅または列の順序を変更する、列を追加または削除する。
- 【表示] > [表示] を使用して、ビュータイプを変更する。
- リスト列の情報を並べ替える。

ビューを更新せずに他のビューに切り替えると、変更は保存されません。

- 1 ビューの変更後、[表示] に移動します。
- 2 [ビューの更新]を選択します。

## ビューを複製する

- 1 マイビューで、コピーするビューを右クリックし、[複製]を選択します。
- **2** ビュー名を指定して、**[Enter]** キーを押します。
- 3 必要に応じて新しいビューを変更します。

ビューを削除する

Å

- 1 マイビューで、削除するビューを選択します。
- 2 [編集] > [削除] を選択します。
  - 「削除」を選択した後、確認のダイアログボックスは表示されません。
    - 削除したビューは、元に戻せません。

• デフォルトビューは削除できません。

#### デフォルトビュー

アプリケーションのデフォルトビューには標準のビューが提供されており、これは削 除および変更することができません。

マップビュー以外の任意のビューでは、列を一時的に追加または削除することができ ます。変更されたビューは、他のビューに切り替えた場合は保存されません。

#### デバイス

一般ビュー

表示名、ホスト名、モデル名などの一般情報が表示されます。

#### 性能ビュー

印刷速度、メモリー合計、ジョブログなど、各種デバイス機能のサポートが表 示されます。

#### カウンタービュー

印刷ページ数合計、スキャンページ数合計、およびファクス印刷ページ数な ど、ジョブのデバイスカウンターが表示されます。

ファームウェアビュー

システムファームウェア、エンジンファームウェア、スキャナファームウェア など、デバイスファームウェア情報が表示されます。

#### 固定資産ビュー

MAC アドレス、シリアル番号、および固定資産番号を含む固定資産情報が表示されます。

マップビュー

カスタマイズ可能な背景画像 (オフィスのフロアプランなど) のデバイスアイ コンが表示されます。

#### 部門

部門デバイスビュー

部門管理をサポートするデバイスの一般情報およびカウンターを表示します。

部門ビュー

コピー、ファクス、およびスキャンのカウンター合計など、管理対象デバイス の部門情報を表示します。

#### ホスト

ホストビュー

ネットワークホストコンピューターの一般情報を表示します。

ホストドライバービュー

ホストコンピューターにインストールされたプリンタードライバーを表示しま す。

ホストキュービュー

ホストコンピューターのデバイスキューを表示します。

# マップビューをカスタマイズする

マイビューまたはデフォルトビューのマップビューで、背景画像(オフィスのフロア プランなど)を追加できます。それに応じて、管理対象のデバイスを整列し、マップ ビューのサイズを変更できます。

- 1 マイビューまたはデフォルトビューで、マップビューを選択します。
- 2 マップの背景を右クリックして、次のいずれかを選択します。

| オプション  | アクション   |
|--|---|
| マップの背景をインポート<br>イメージをインポートして、各<br>デバイスアイコンを希望する位<br>置に移動します。マップは、現<br>在のワークスペースのすべての<br>マップビューで共有されます。 | 希望する画像ファイル (.bmp または<br>.jpg) を参照して、 <b>[OK]</b> を選択しま<br>す。  |
| 拡大、縮小、画面にあわせる<br>マップのサイズを調整します。<br>アプリケーションの画面サイズ<br>を変更しても、マップのサイズ<br>は変更されません。                       | <ul> <li>次のいずれかを行います。</li> <li>【拡大】または【縮小】を選択してイメージのサイズを固定された間隔で変更します。</li> <li>【画面にあわせる】を選択すると、全体のイメージが画面内に収まります。</li> <li>50%から300%の範囲でパーセント値を指定して、[Enter]キーを押します。</li> </ul> |
| マップの背景をクリア<br>背景の画像を削除します。すべ<br>てのデバイスアイコンは元の位<br>置に残ります。  | このオプションを選択し<br>た後、確認のダイアログ<br>ボックスは表示されませ<br>ん。   |



「拡大」、「縮小」、「画面にあわせる」、および「マップの背 「拡大」、「<sup>摘</sup>小」、「四回にのなこ~」、 長をクリア」は、マップビューにマップの背景がある場合のみ使用 可能です。

# 表示、リスト、およびデバイス情報をエクスポートする

各種のビューオプションからデバイスについての情報を .xml または .csv ファイルに エクスポートします。

- 1 任意のビューから、【ファイル】>【エクスポート】に移動し、次から選択します。
  - [表示]
  - [リスト]
  - ・ 【デバイス】



- **2** エクスポートの詳細を入力します。
  - ファイルの場所
  - ファイル名
  - ファイルの種類

I.csv ファイルへのエクスポートは、UTF-8 エンコードを使用します。

3 [保存] を選択します。

各エクスポートオプションでは、異なる情報が提供されます。各タイプの結果を確認 します。

#### ビューを更新する

デバイスとホスト情報は、ポーリングスケジュールに従って自動的に更新されま す。1つまたは複数のデバイスについて、この情報を手動でいつでも更新できます。

- 1 任意のホストまたはデバイスビューから、ホストまたはホストを1つ以上選択します。
- 2 選択を右クリックして、[更新]を選択します。

ホストまたはデバイスビュー内のすべてのアイテムを更新するには、[表示]>[すべて 更新] に移動します。

# フォルダーレポートを作成しエクスポートする

マイビューでフォルダーを作成し、部門デバイスビューまたは部門ビューからのカス タムビューを加えると、部門または部門デバイスフォルダーレポートを作成およびエ クスポートできるようになります。

ビュー

部門フォルダーレポート

フォルダーに少なくとも1つの部門ビューが含まれていれば、このレポート を作成できます。エクスポートされるレポートには、部門フォルダーレポート ダイアログボックスで選択した部門のみが含まれます。

部門デバイスフォルダーレポート

フォルダーに少なくとも1つの部門デバイスビューが含まれていれば、この レポートを作成できます。エクスポートされるレポートには、部門デバイス のフォルダーレポートダイアログボックスで選択したデバイスのみが含まれま す。

作成されたフォルダーレポートは、.csv または .xml ファイルにエクスポートできます。

- マイビューでフォルダーを右クリックして、【フォルダーレポート】を選択します。
- 2 [部門] または [部門デバイス] を選択し、レポートに含める部門またはデバイス を 1 つ以上選択します。
- 3 【エクスポート】を選択します。
- 4 エクスポートの詳細を入力します。
  - ファイルの場所
  - ファイル名
  - ファイルの種類
- 5 [閉じる] を選択します。

#### 検索

次のオプションを使用して、特徴のあるデバイス、部門、またはホストの検索ができ ます。

- 検索機能は、現在表示されているビューのデータを検索します。別のビューに移動すると、入力した文字列は保存されません。
- アドバンストサーチでは、検索ダイアログボックスで選択した値で、データベー ス内のすべてのデバイス、部門、またはホストを検索します。

#### 検索で情報を探す

検索では、以下の列またはマップビューで、完全一致または一部一致する用語を検索 できます。

#### デバイス検索

表示名、IP アドレス、ホスト名、およびモデル名

#### 部門検索

部門コード

#### ホスト検索

ホスト名、ドライバー名、キュー名、IP アドレス、OS 情報

検索機能では、ビューから上記の列が削除されても、削除された列を含めて検索しま す。別のビューに移動、またはアドバンストサーチを実行すると、結果は保存されま せん。検索では、展開された情報領域は含まれません。

- テキストボックスに英数字の検索用語を入力します。
   入力すると、元のビュー内にあるすべてのデバイス、部門、またはホストの データを検索します。
- 2 検索用語をクリアするには、「テキストの検索」ボックスの横にあるアイコン を選択します。

テキストボックス内のテキストが削除され、ビューは検索前のデバイス、部 門、またはホストのオリジナルリストに戻ります。

#### アドバンストサーチで情報を探す

アドバンストサーチ機能を使用して、選択した条件と一致する、データベース内のす べてのデバイス、部門、またはホストを検索します。別のビューに変更、または別の 検索を実行するまで、結果は表示されます。

1 デフォルトビューで、ビューを選択します。

アドバンストサーチ機能はホストドライバービューおよびホストキュービューでは使用できません。

- 2 [編集] > [アドバンストサーチ] に移動します。
- 3 「アドバンストサーチ」ダイアログボックスで、検索ロジックを選択します。

すべての検索条件に合致する

このオプションは、「条件」で指定した検索用語とすべてが一致するデ バイス、部門、またはホストを検索します。

いくつかの検索条件に合致する

このオプションは、「条件」で指定した検索用語と1つ以上が一致する デバイス、部門、またはホストを検索します。

4 条件では、検索で探す機能またはプロパティーを選択します。

プロパティー

プロパティーリストごとに、プロパティーを1つ選択します。6つのプロパティリストが使用できます。お使いのデバイスによっては、プロパティーが異なる場合があります。

条件

指定できる条件は、選択したプロパティーによって異なります。

値

ボックスに値を入力または選択します。

**5** [OK] を選択します。

すべてのデバイス、部門、ホストを検索し、選択した条件に一致するデバイス、部 門、ホストを表示します。マップビューでは、オフィスマップに保存された場所にデ バイス検索結果が表示されます。

4 デバイス

ネットワーク上のデバイスを管理します。

デバイスの機能についての詳細は、デバイスの 『使用説明書』 を参照してくださ い。ドライバーの機能についての詳細は、『プリンタードライバー操作手順書』 を 参照してください。

#### デバイスプロパティーを表示する

選択したデバイスに関する設定およびステータス情報を表示します。

1 任意のデバイスビューから、デバイスを右クリックし、【プロパティー】を選択します。

選択したデバイスに応じて、次の設定が表示されます。

基本デバイス設定

このエリアには、デバイスの表示名、モデル、ステータス、IP アドレス、ホスト名、ロケーション、および説明が表示されます。パネルメッセージのボックスには、デバイス操作パネルに現在表示されている情報が表示されます。デバイスの表示名、ロケーション、および説明を編集できます。

デバイスアラート

このエリアには、現在発生しているアラートに関する説明および対処可 能なトラブルシューティングの方法が表示されます。

用紙設定

このエリアには、現在装着されているトレイとカセット、その容量、お よび用紙残量が表示されます。

性能

このエリアには、現在選択しているデバイスの主な仕様が表示されます。

カウンター

このエリアには、さまざまな種類の用紙、メディア、および出力用の各 種カウンターが表示されます。

ファームウェアバージョン

このエリアには、システムの各種パーツのファームウェアバージョンが 表示されます。

システムファームウェア(詳細)

このエリアには、選択したデバイスにインストールされたコントローラーファームウェアのバージョンが表示されます。

メモリー

このエリアには、サポートされている各ストレージデバイスの容量と使 用量が表示されます。

固定資産

このエリアには、デバイスのネットワークアダプターの MAC アドレス、デバイス自体のシリアル番号、 組織から割り当てられた固定資産番号が表示されます。

#### Wi-Fi

このエリアには、選択したワイヤレス対応のデバイス上にワイヤレス ネットワークカードがインストールされている場合、ワイヤレスネット ワーク接続の詳細が表示されます。

#### **Trusted Platform Module (TPM)**

このエリアには、デバイスステータス、製造元名、製造元バージョン、 および仕様バージョンが表示されます。

**2** [更新]を選択して、このダイアログボックスが開いている間に変更されたデバイスの設定を更新します。

#### デバイスのホームページを表示する

Embedded Web Server を使用してデバイスのホームページを表示します。デバイスのホームページは、デバイスの現在のステータスや設定に関する情報を表示します。

デバイスによっては、ホームページに表示されるレイアウトおよび情報が異なる場合があります。

任意のデバイスビューから、デバイスを選択し、[デバイス]>[デバイスのホームページ] に移動します。

#### デバイスプロパティーのレポート

マイビューの現在のデバイスビューにあるデバイスについて詳細な情報を提供するレ ポートを管理します。レポートは、複数の受信者に送信することも、日時を指定して 送信することも可能です。

レポートには、選択したビューで表示されているものと同じデバイス情報が含まれま す。各ビューには1つのデバイスプロパティーのレポートのみが可能で、すべてのデ バイスビューには合計5つのレポートを作成できます。

デバイスプロパティーのレポートは、ユーザーが指定したレポート名を持ち、リスト で指定されたメールアドレスに送信できます。レポートを毎日、毎週、または毎月、 送信するようにスケジュールできます。メールの件名にユーザー指定のメッセージを 追加することもできます。

.xml または .csv 形式のレポートを作成できます。



この機能はマップビューでは使用できません。
この機能は「オプション」で設定するメール設定が必要です。

デバイスプロパティーのレポートを作成する

- デバイスプロパティーのレポートを作成できるのは、マイビューでの みです。
  - この機能は「オプション」で設定するメール設定が必要です。
  - 1 マイビューから、デバイスビューを選択し、[デバイス]>[デバイスプロパ ティーのレポートを追加] に移動します。
  - 2 必要に応じてデフォルト設定を変更します。
  - 3 [OK] を選択します。

デバイスプロパティーのレポート設定を表示し変更する

- 1 マイビューから、デバイスビューを選択し、[デバイス]>[デバイスプロパ ティーのレポートを表示]に移動します。
- 2 レポートを選択して、[プロパティー] を選択します。
- 3 「デバイスプロパティーのレポートを編集」で、必要に応じて設定を変更します。
- **4** [OK] を選択します。

#### 証明書を管理する

1 台以上のデバイスに対しデバイス証明書とルート証明書をインポートまたは削除します。また、デバイス証明書をプロトコルに割り当てます。

次の証明書をインストールできます。

デバイス証明書

デバイスを識別するファイルです。

ルート証明書

セキュリティー保護付きの通信を行うために、デバイスが使用するファイルで す。一部のアプリケーションでは、ルート証明書をサーバー証明書としても使 用できます。

#### 1台のデバイス上で証明書を管理する

1台のデバイス上で証明書を管理する場合、デバイス上で追加した証明書の詳細を表示できます。

#### 1台のデバイス上で証明書をインポートする

無効な証明書にのみインポートできます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[証明書] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [証明書をインポートする] を選択します。
- 3 次のいずれかを行います。

| オプション             | アクション  |
|-------------------|--|
| デバイス証明書をイン<br>ポート | <ul> <li>a. 証明書メニューで、[デバイス証明書] を選択します。</li> <li>b. 必要に応じて、インストールエリアメニューで、証明書番号を選択します。</li> </ul> |
|                   | デフォルトの有効な証明書を<br>使用するには、[自動 (デフォル<br>ト)]を選択します。  |
|                   | <b>C.</b> 証明書ファイルで、 <b>[</b> 参照 <b>]</b> を選択し、イン<br>ポートする証明書を指定します。                              |
|                   | <ul> <li>d. パスワードフィールドで、証明書のパスワードを入力します。</li> </ul>  |
|                   | [ e. [OK] を選択しよう。  |
| ルート証明書をインポー<br>ト  | a. 証明書メニューで、【ルート証明書】を選択し<br>ます。  |
|                   | b. 必要に応じて、インストールエリアメニュー<br>で、証明書番号を選択します。  |
|                   | デフォルトの有効な証明書を<br>使用するには、【自動 (デフォル<br>ト)】を選択します。  |
|                   | <b>C.</b> 証明書ファイルで、 <b>[</b> 参照 <b>]</b> を選択し、イン<br>ポートする証明書を指定します。                              |
|                   | d. [OK] を選択します。  |

#### **4** [OK] を選択します。

処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理が完了したら、証明書画面が更新されます。エラーが発生した場合、[エクス ポート] を選択すると、詳細な結果ログが表示されます。

1台のデバイス上でデバイス証明書をプロトコルに割り当て る

有効なデバイス証明書のみをプロトコルに割り当てることができます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[証明書] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 有効なデバイス証明書を右クリックし、[デバイス証明書をプロトコルに割り当 てる]を選択します。
- 3 プロトコルリストで、プロトコルを1つ以上選択し、[OK] を選択します。



**4** [OK] を選択します。

処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理が完了したら、証明書画面が更新されます。エラーが発生した場合、【エクス ポート】を選択すると、詳細な結果ログが表示されます。

## 1台のデバイス上で証明書を削除する

有効な証明書のみ削除できます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[証明書] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 有効な証明書を右クリックし、[証明書を削除] を選択し、[次へ] を選択します。
- 3 [はい] > [OK] を選択します。 処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理が完了したら、証明書画面が更新され、選択した証明書が[無効]に設定されま す。エラーが発生した場合、[エクスポート]を選択すると、詳細な結果ログが表示さ れます。

証明書の詳細を表示する

有効な証明書のみ詳細を表示できます。

- デバイスを選択し、[デバイス]>[証明書] に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 有効な証明書を右クリックし、[証明書の詳細] を選択します。
- **3** [OK] を選択します。

複数のデバイス上で証明書を管理する

■ 複数のデバイスを管理する場合、証明書は表示できません。デバイス上 ● の証明書を表示するには、デバイスを個別に管理する必要があります。 複数のデバイス上で証明書をインポートする

- 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>
   [証明書を管理] に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [証明書をインポート] > [次へ] を選択します。
- 3 次のいずれかを行います。

| オプション             | アクション  |
|-------------------|--|
| デバイス証明書をイン<br>ポート | <ul> <li>a. [デバイス証明書] &gt; [次へ] を選択します。</li> <li>b. 構成を含む .csv ファイルを指定し、証明<br/>書ファイルを含む .zip ファイルを指定しま<br/>す。</li> </ul> |
|                   | 必要に応じて、[デバイス証明<br>書をプロトコルに割り当てる]<br>を選択して、使用可能なデバイ<br>スプロトコルに証明書を割り当<br>てます。   |
|                   | <ul> <li>C. [次へ]を選択します。</li> <li>d. 「デバイス証明書をプロトコルに割り当てる」を選択した場合、プロトコルを1つ以上追加して[次へ]を選択します。</li> </ul>                    |
| ルート証明書をインポー<br>ト  | <ul> <li>a. [ルート証明書] &gt; [次へ] を選択します。</li> <li>b. インポートする証明書を指定します。</li> <li>c. [次へ] を選択します。</li> </ul>                 |

4 設定を確認し、[完了]を選択します。

5 [OK] を選択します。

処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理の完了後、【エクスポート】を選択すると、詳細な結果ログが表示されます。

複数のデバイス上でデバイス証明書をプロトコルに割り当て る

- 1 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [証明書を管理]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [デバイス証明書をプロトコルに割り当てる] > [次へ] を選択します。
- 3 次のいずれかを行います。

| オプション             | アクション   |
|-------------------|---|
| 証明書のサブジェクトを<br>指定 | <ul> <li>a. 証明書のサブジェクトを識別名 (DN) として<br/>入力します。</li> <li>b. [次へ]を選択します。</li> </ul>                         |
| 証明書ファイルを選択        | <ul> <li>a. 証明書ファイルを指定</li> <li>b. 選択した証明書ファイルがパスワードを要求<br/>する場合、証明書パスワードを入力し、【次<br/>へ】を選択します。</li> </ul> |

4 「プロトコルを選択」で、プロトコルを選択し、「選択したプロトコル」に追加します。

必要に応じて、この手順を繰り返してプロトコルをさらに追加します。

- 5 [次へ] を選択します。
- 6 設定を確認し、[完了]を選択します。
- 7 [OK] を選択します。 処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理の完了後、【エクスポート】を選択すると、詳細な結果ログが表示されます。

複数のデバイス上で証明書を削除する

- 1 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [証明書を管理]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [証明書を削除] > [次へ] を選択します。
- 3 [デバイス証明書] または [ルート証明書] を選択して、[次へ] を選択します。
- 4 次のいずれかを行います。

| オプション       | アクション   |
|-------------|---|
| 証明書のサブジェクトを | <ul> <li>a. 証明書のサブジェクトを識別名 (DN) として</li></ul> |
| 指定          | 入力します。 <li>b. [次へ] を選択します。</li>               |

| オプション      | アクション  |
|------------|--|
| 証明書ファイルを選択 | ・ デバイス証明書の場合   |
|            | <ul> <li>a. 証明書ファイルを指定します。</li> <li>b. 選択した証明書ファイルがパスワードを<br/>要求する場合、証明書パスワードを入力<br/>し、[次へ] を選択します。</li> </ul> |
|            | • ルート証明書の場合  |
|            | a. 証明書ファイルを指定します。<br>b. [次へ] を選択します。   |

5 設定を確認し、[完了]を選択します。

**6** [OK] を選択します。

処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動します。処理中ページ に、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。

処理の完了後、【エクスポート】を選択すると、詳細な結果ログが表示されます。

#### アドレス帳

デバイスに保存されている個人とその個人アドレス情報のリストを含んだアドレス帳 を管理します。個人に関する各エントリは個人アドレスと呼ばれ、個人アドレスはグ ループに分類できます。この個人アドレスとグループ情報はデバイスに保存され、 ファクスとスキャン操作に使われます。

## 個人アドレスを追加する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス] > [アドレス帳] に移 動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [個人アドレスの追加]を選択します。
- 3 個人アドレス設定で、個人アドレス用の番号を選択します。

次に使用可能な番号を使用するには、[自動]を選択します。

- 4 名前のテキストボックスに、個人アドレスの名前を入力します。
- 5 新しい個人アドレスの、追加の設定を編集します。



カバーページ

個人アドレスのカバーページ情報。
```
メール
```

個人アドレスのメールアドレスを入力します。

FTP

FTP 共有フォルダーの情報と設定を入力します。

SMB

SMB 共有フォルダーの情報と設定を入力します。

ファクス

個人アドレスのファクス情報と設定を入力します。

インターネットファクス 個人アドレスのインターネットファクス情報と設定を入力します。

**6** [OK] を選択します。

編集するには、個人アドレスを選択し、[プロパティー] を選択します。必要に応じ て、設定を編集し、[OK] を選択します。

削除するには、個人アドレスを選択し、[削除] > [はい] を選択します。

### グループを追加する

個人アドレスをグループにまとめます。この機能は、デバイスに特定のタイプのイベ ントの通知を送信する場合などに便利です。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [グループの追加]を選択します。
- 3 グループ設定で、グループの名前を入力します。
- 4 グループ用の番号を選択します。



5 [OK] を選択します。

編集するには、グループを選択し、[プロパティー] を選択します。必要に応じて、設 定を編集し、[OK] を選択します。

削除するには、グループを選択し、[削除] > [はい] を選択します。

グループに個人アドレスを追加する

- 1回の追加ごとにデバイスとの通信が必要であるため、ネットワークの✓ 状況によっては時間がかかる場合があります。
- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 グループを選択して、【プロパティー】を選択します。
- 3 グループ設定で、【メンバーの追加】を選択します。 デバイスから個人アドレスリストがダウンロードされ、ダイアログボックスに 表示されます。
- 4 メンバーの追加で、個人アドレスを1つ以上選択し、[追加]を選択します。
- 5 すべてのダイアログボックスで [OK] を選択します。

グループから個人アドレスを削除するには、個人アドレスを1つ以上選択し、[メン バーの削除]を選択します。

ワンタッチキー

デバイスの操作パネルのキーを1つ押すだけで、アドレス帳の個人やグループにアク セスできます。

- ・ お使いのデバイスにより、作成可能なワンタッチキーの最大数が異なります。
  - この機能は、一部のデバイスのみに使用できます。

ワンタッチキーを追加する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [ワンタッチキーの表示]を選択します。
- 3 ワンタッチキーで、[ワンタッチキーの追加]を選択します。
- 4 ワンタッチキーの追加で、キー名を指定し、1から1000の番号を選択します。
  - ・ キー名が指定されていない場合、個人アドレス名が使用されます。
    - 次に使用可能な番号を自動的に使用するには、[自動]を選択します。

- 最大値はデバイスによって異なります。
- 5 [宛先] を選択し、ワンタッチキーの宛先で個人アドレスまたはグループを選択 します。
- 6 すべてのダイアログボックスで [OK] を選択します。

削除するには、ワンタッチキーのエントリーを選択し、[ワンタッチキーの削除] を選 択します。

ワンタッチキープロパティーを表示および編集する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [ワンタッチキーの表示]を選択します。
- **3** ワンタッチキーで、キーのエントリーを選択し、[ワンタッチキーのプロパ ティー]を選択します。
- 4 ワンタッチキープロパティーで、[宛先の編集]を選択して、必要に応じて設定 を編集します。
- 5 すべてのダイアログボックスで [OK] を選択します。

ワンタッチキーを検索する

キーのエントリーを検索またはキーの宛先を編集すると、ワンタッチキーを検索する ことができます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [ワンタッチキーの表示]を選択します。
- 3 検索可能なフィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。
  - [番号]
  - ・ 【アドレス番号】
  - 【アドレスの種類】
  - **[**名前]
  - [宛先]

 アドレスの種類に応じて、これはメールアドレスまたはフォル
 ダーの場所になります。このオプションは、ワンタッチキーの 宛先を編集する場合のみに使用可能です。

4 テキストの検索テキストボックスに、検索する文字列を入力します。

検索結果をクリアしてリストをもう一度表示するには、ツールバーで [サーチのクリア] を選択します。

### 個人アドレスとグループをコピーする

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 個人アドレスまたはグループを選択して、[コピー]を選択します。
- 3 [貼り付け] を選択します。
- 4 必要に応じて、新しい個人アドレスまたはグループ設定を編集します。
- 5 [閉じる] を選択します。

アドレス帳リストをエクスポートする

個人アドレス、グループ、ワンタッチリストを.csv または.xml ファイルにエクス ポートします。エクスポートされたリストをマルチセット機能にインポートできま す。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳] に移 動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [エクスポート]を選択します。
- 3 ファイル名を入力して、ファイルを保存します。

#### アドレス帳を検索する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アドレス帳]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

2 検索可能なフィールドメニューで、次のいずれかのオプションを選択します。



番号

個人アドレスに割り当てる一意の番号。

名前

個人アドレスの名前。

```
メール
```

個人アドレスのメールアドレス。

#### FTP

FTP フォルダーのホスト名。

#### SMB

SMB フォルダーのホスト名。

- ファクス番号 個人アドレスのファックス番号。
- インターネットファクスアドレス 個人アドレスのインターネットファクスアドレス。
- 3 テキストの検索テキストボックスに、検索する文字列を入力します。



検索結果をクリアしてリストをもう一度表示するには、ツール バーで 【サーチのクリア】 を選択します。

### デバイスユーザー

デバイス上のユーザーのログイン情報を管理します。

- ユーザー認証が設定されている場合、管理者権限を持つユーザーのみ がデバイスの機能を使用できます。
  - デバイスのユーザーリストにアクセスするには、そのデバイスの通信 設定で正しいログイン情報を設定する必要があります。デバイスに管 理者パスワードが設定されている場合は、管理者のみがユーザーリス トを変更できます。

### デバイスユーザーを追加する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ユーザー] に移動 します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 【ユーザーの追加】 を選択します。
- ユーザーの追加で、ログイン情報を入力します。
- 4 [選択]を選択して、部門コードを設定します。
- 5 必要に応じて、[管理者アクセスを許可する] を選択し、ユーザーにデバイスの 管理者権限を与えます。



**6** [拡張機能] を選択して、言語と初期画面を指定します。

初期画面のアプリケーションのオプションは、デバイスに1つ以上のアプリケーションがインストールされている場合のみ使用可能です。

7 選択した初期画面に応じて、次の項目を構成します。

送信/ファクス初期画面

デバイスから【デバイスシステム設定】>【送信設定】を選択し、デフォルトの操作パネルを選択します。

#### 初期アドレス帳

ユーザー用にローカルアドレス帳または拡張アドレス帳を選択します。

お気に入り/アプリケーション初期画面

デバイスから [デバイスシステム設定] > [プログラム/お気に入り(また はアプリケーション)] を選択し、デフォルトの操作パネルを選択しま す。

- デフォルトアプリケーション ユーザーが物理デバイスに最初にログオンした時に表示されるアプリ ケーションを選択します。
- 8 ID カード情報で、ユーザー用の一意の ID カードを指定します。

このオプションは、デバイスにカード認証キットがインストール されている場合に使用可能です。

- 9 認可で、使用可能な機能の許可情報を設定します。
- **10** [OK] を選択します。

ユーザー情報を編集するには、ユーザーを選択し、[プロパティー]を選択します。必要に応じて、設定を編集し、[OK]を選択します。

ユーザーを削除するには、ユーザーを選択し、【ユーザーの削除】 > 【はい】 を選択します。

### デバイスのユーザーリストをエクスポートする

.csv または .xml ファイルにエクスポートできます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ユーザー]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 【ユーザーのエクスポート】を選択します。
- 3 すべてのユーザーにエクスポートするには[はい]を、指定ユーザーにエクスポートするには[いいえ]を選択します。

4 ファイル名を入力して、ファイルを保存します。

デバイスユーザリストを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ユーザー]に移動します。
  - ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



簡単ログインキーを設定する

この機能は、一部のデバイスのみに使用できます。

- 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ユーザー] に移動 します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [簡単ログインキーの表示] を選択します。
- 3 簡単ログインキーで、[簡単ログインキーの追加]を選択します。
- 4 アイコンを選択して、名前を入力します。
- 5 キーのテキストボックスで、特定の番号を1から20の間で選択するか、[次の 使用可能な番号]を選択して自動で番号を設定します。
- 6 次のいずれかの認証モードを選択します。
  - ローカル認証を使用 使用可能なデバイスユーザーログイン情報を使用します。【ユーザーリ ストから選択】を選択し、ユーザーを選択して【**OK**】を選択します。
  - ネットワーク認証を使用 ネットワークユーザーログイン情報を使用します。ネットワークログイ ンユーザー名とパスワードを入力します。
- 7 必要に応じて、パスワードログインで、[オン]を選択してパスワードログイン を要求するか、[オフ]を選択してパスワードの要求を無効にします。
- 8 [追加] を選択します。

編集するには、簡単ログインキーを選択し、[簡単ログインキーのプロパティー]を選択します。必要に応じて、設定を編集し、[OK]を選択します。

削除するには、簡単ログインキーを選択し、[簡単ログインキーの削除] > [はい] を選択します。

簡単ログインキーリストを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ユーザー]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [簡単ログインキーの表示]を選択します。
- 3 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 4 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



# ジョブ

現在デバイスのキューにあるジョブ、および処理済みの最近のジョブについての情報 を含むジョブ履歴を管理します。

### ジョブの詳細の表示

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 [表示]を選択して、次のいずれかのジョブ状況またはログを選択します。
  - [印刷ジョブ状況]
  - 【送信ジョブ状況】
  - ・ 【保存ジョブ状況】
  - 【予約ジョブ状況】
  - [印刷ジョブ履歴]
  - 【送信ジョブ履歴】
  - 【保存ジョブ履歴】
- 3 ジョブリストで、ジョブを選択し、[プロパティー]を選択します。
- 4 ジョブ情報を確認します。



5 [閉じる] を選択します。

1つ以上のジョブをキャンセルするには、1つ以上のジョブを選択し、【ジョブをキャンセル】を選択します。

ジョブ履歴をエクスポートする

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 【エクスポート】を選択して、ジョブ履歴を選択します。
- 3 ファイル名と保存先を指定します。
- 4 「最大数」メニューで、ログに保存するジョブ履歴の行数を入力します。
- 5 [OK] を選択します。

ジョブリストを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ]に移動します。
- ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



### ジョブ保留

デバイスのハードディスクに保存されている一時または恒久印刷ジョブを、表示、印 刷、または削除します。

保存されているジョブを表示するには、任意のデバイスビューからデバイスを選択 し、【デバイス】>【ジョブ保留】に移動します。

リストを更新するには、[更新]を選択します。



この機能は、ハードディスクがインストールされている一部のデバイスでのみ使用可能です。

### ジョブ保留を印刷する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ保留] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

2 リストからジョブを選択し、[印刷] > [選択されたジョブを印刷] > [はい] を選択します。

# ジョブ保留リストを印刷する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ保留] に移 動します。
  - ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [印刷] を選択して、次のいずれかを選択します。
  - [一時保存ジョブリストを印刷]
  - [恒久保存ジョブリストを印刷]

### ジョブ保留を削除する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ保留]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [削除]を選択して、次のいずれかを選択します。
  - ・ [選択したジョブを削除]
  - [一時保存ジョブをすべて削除]
  - [恒久保存ジョブをすべて削除]
  - 【すべてのジョブを削除】
- 3 【はい】を選択します。

### ジョブ保留を検索する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[ジョブ保留] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



### 文書ボックス

デバイス上の文書ボックスを管理します。これは、デバイスに保存されているファイ ルを管理するために、個人またはグループが使用します。

- ・ 認証が設定されている場合、文書ボックスにアクセスするには、デバ イスの通信設定で正しいログイン情報が必要になります。
  - 認証が設定されていない場合、デバイスによってはログインダイアロ グボックスが表示される場合があります。

### 文書ボックスを追加します

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス]に 移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

2 【ボックスを追加】 を選択します。

デバイスによっては、作成できる文書ボックス数は異なる場合があります。

3 「ボックスを追加」ダイアログボックスで、新しいボックスの名前を入力します。

デフォルトのボックスタイプは、ユーザーボックスです。一部の デバイスは、ファクス受信用にファクスボックスまたはサブアドレ スもサポートしています。

- 4 パスワード保護された文書ボックスを作成するには、パスワードを指定します。
- 5 次の設定を構成します。



名前

ボックスの名前を入力します。

タイプ

文書ボックスのタイプを表示します。

番号

使用可能なボックス番号を選択します。

所有者

リストから新しい所有者を選択します。このオプションは、所有者の設 定が有効な場合のみに使用可能です。

所有者の設定

所有者のタイプを次から選択します。

- ・【オフ】
- 【ローカルユーザー】
- 【ネットワークユーザー】
- ドメイン

使用可能なドメインのリストから選択します。

使用量

現在のボックスの使用量を表示します。

使用制限 (MB)

ボックスの使用量を1から 30000 MB の間で制限します。

自動文書削除(日)

デバイスメモリーにファイルを保存する期間を1から31日の間で選択 します。

共有

選択すると、複数のユーザーがボックスを使用できるようになります。

パスワード変更

ボックスの新しいパスワードを入力します。

上書き保存許可

選択した場合、新規のファイルが同一の名前を持つ古いファイルを上書 きします。

サブアドレス

ボックスのサブアドレスを表示します。

この設定はサブドレスのボックスのみに使用可能です。

印刷後削除

印刷後、ボックスから文書を完全に削除する場合に選択します。

**6** [OK] を選択します。

編集するには、文書ボックスを選択し、[ボックスのプロパティー] を選択します。必 要に応じて、設定を編集し、[OK] を選択します。

削除するには、文書ボックスを選択し、[ボックスの削除]を選択します。

文書ボックスのリストをエクスポートする

エクスポートしたファイルを使用して、マルチセット機能を介して設定をインポート できます。

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス]に 移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- リストからボックスを選択します。
- 3 [エクスポート]を選択して、エクスポートするファイルのファイル形式を選択 します。



4 すべてのボックスをエクスポートするには[はい]を、選択したボックスをエク スポートするには[いいえ]を選択します。



5 ファイルに名前を付けて、保存します。

### 文書のプロパティーを表示する

- 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス]に 移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- ユーザーボックスで、文書ボックスを選択します。
- 3 ファイルを選択して、【文書のプロパティー】を選択します。
- **4** [OK] を選択します。

### 文書を表示する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス]に 移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 文書ボックスを設定して、【表示】を選択します。
- 3 次のうち、1つ以上を選択します。



サムネイル 文書のサムネイルイメージを表示します。

プレビューペイン 文書内容のプレビューを表示します。

### 文書をダウンロードする

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス]に 移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

2 ユーザーボックスで、文書ボックスを選択します。

- 3 ファイルを選択して、【文書のダウンロード】を選択します。
- 4 ファイルからフィールドで、ファイルの保存先を指定します。
- 5 ファイル名を入力して、ファイルのタイプを選択します。
- 6 [保存] を選択します。

### 文書ボックスを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス] に 移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



| \_ 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、 【サー チのクリア1を選択します。

文書ボックスを他のボックスに移動する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[文書ボックス] に 移動します。
  - ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 ユーザーボックスで、移動するファイルを含む文書ボックスを選択します。
- 3 ファイルを1つ以上選択して、宛先の文書ボックスにファイルを移動します。
- 4 【はい】を選択します。

#### バーチャルメールボックス

デバイスのハードディスクに作成されたメールボックスを管理します。



### バーチャルメールボックスを追加する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[バーチャルメール ボックス」に移動します。
- 2 [新規メールボックス] を選択します。

**3** メールボックスの ID、名前、およびパスワードを入力します。



**4** [OK] を選択します。

編集するには、メールボックスを選択し、[メールボックスプロパティー]を選択しま す。設定を編集し、[**OK**] を選択します。

削除するには、メールボックスを選択し、[メールボックスを削除] > [はい] を選択し ます。

「アインタードが設定されている場合は、正しいパスワードを入力します。

バーチャルメールボックスを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[バーチャルメール ボックス]に移動します。
- 2 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。

★ 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、[サーチ・チのクリア]を選択します。

バーチャルメールボックスリストをエクスポートする

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[バーチャルメール ボックス] に移動します。
- 2 バーチャルメールボックスを選択し、ツールバーで【リストのエクスポート】を 選択します。
- 3 エクスポートの詳細を入力します。

エクスポートしたファイルをプリンタードライバーにインポートできます。

バーチャルメールボックス拡張機能オプションを設定する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[バーチャルメール ボックス]に移動します。
- 2 メールボックスを選択し、[拡張機能] を選択します。
- 3 パスワードが設定されている場合は、正しいパスワードを入力し、[OK] を選択します。
- 4 必要に応じて、次の設定を変更します。

**VMB**の最大サイズ

メールボックスのサイズを0から9999 MBの範囲で設定します。メー ルボックスを使用しないようにするには、値を[0]に設定します。

マスターパスワードを変更

数値を1から65535の範囲で設定します。このパスワードは、現在の メールボックスのパスワードを上書きまたは変更するために使用されま す。パスワードを削除するには、「新しいパスワード」と「新しいパス ワードの確認」のテキストボックスをクリアします。

バーチャルメールボックスをすべて削除

すべてのバーチャルメールボックスデータをハードディスクから削除し ます。[すべて削除] > [はい] を選択します。

**5** [OK] > [閉じる] を選択します。

### デバイスアプリケーション

1 台以上のデバイスのアプリケーションをリモートで管理できます。お使いのデバイ スによっては、使用可能な機能が異なる場合があります。

アプリケーションをインストール、起動、停止、またはアンインストールする前に、 次を実行してください。

- ・ デバイスの SSL および IPP over SSL を有効にします。
- 一部のデバイスでは、Enhanced WSD over SSL を有効にします。
- デバイスの通信設定で正しいログイン情報を入力します。

アプリケーションは、印刷・コピー・部門管理の機能の拡張のために、ディーラーま たはサードパーティーによって作成されます。

### アプリケーションを1台のデバイスで管理する

「アプリケーションの管理」ウィザードを使用して、1台のデバイスでアプリケー ションをリモートで管理します。

#### アプリケーションを1台のデバイスにインストールする

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アプリケーション]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 ツールバーで、[新規インストール] を選択します。
- 3 有効なアプリケーションパッケージファイル (.pkg) を参照し、[開く] > [はい] を選択します。

1台のデバイスでインストールされたアプリケーションを起 動する

- 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アプリケーション]に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 アプリケーションを選択し、[起動] を選択します。
- 3 ライセンスキー設定で、次のいずれかを選択します。
  - ライセンスキーなしで起動 アプリケーションにライセンスキーが必要でない場合にこのオプション を選択します。
  - 次のライセンスキーを使用 有効な 20 桁のライセンスキーを入力します。
- **4** [OK] > [閉じる] を選択します。

1台のデバイスでインストールされたアプリケーションを停止する

- 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アプリケーション]に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 アプリケーションを選択し、ツールバーで [停止] を選択します。
- 3 [はい] > [閉じる] を選択します。

### 1台のデバイスでインストールされたアプリケーションをア ンインストールする

- 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アプリケーション]に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 アプリケーションを選択し、ツールバーで [アンインストール] を選択します。
- 3 [はい] > [閉じる] を選択します。

### アプリケーションを複数のデバイスで管理する

「アプリケーションの管理」ウィザードで、複数のデバイスでアプリケーションをリ モートで管理します。

# アプリケーションを複数のデバイスにインストールする

「アプリケーションの管理」ウィザードを使用して、1台または複数のデバイスにア プリケーションをインストールします。アプリケーションをインストールした後は、 アプリケーションをすぐに起動することができます。

- 1 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [アプリケーションの管理]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- **2** [アプリケーションをインストール] を選択します。使用可能なライセンスがある場合、[インストール後、アプリケーションを起動する] を選択します。
- 3 [次へ] を選択します。
- 4 有効なアプリケーションパッケージファイル (.pkg) を指定し、[開く] > [次へ] を選択します。
- 5 「インストール後、アプリケーションを起動する」が選択されていて、ライセンスが必要な場合、次のいずれかを選択します。

| オプション           | アクション  |
|-----------------|--|
| 【ライセンスキーなしで起動】  | 次のステップに進みます。   |
| 【次のライセンスキーを使用】  | デバイスを選択し、 <b>20</b> 桁のライセン<br>スキーを入力します。   |
| [ライセンスキーをインポート] | <ul> <li>a. デバイスの有効なライセンスキーファイル(.csv)を参照し、[開く]を選択します。</li> <li>ディーラーから.csvファイルが提供されていない場合、デバイスのシリアル番号とライセンスキー用の列を含む.csv形式のライセンスキーファイルを作成します。.csvファイルの内容が正しくない場合は、[はい]を選択します。</li> <li>b. 「ライセンスキーのマッピングゴダイアログボックスで、各プロパティーのマッピング値を選択します。.csvファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、[ファイルにヘッダーあり]を選択します。</li> </ul> |



- 6 インストール時にアプリケーションを起動していない場合、「ライセンスキー を適用」ページは表示されません。【次へ】を選択します。
- 7 [OK] を選択します。
- 8 設定を確認し、[完了]を選択してアプリケーションをインストールします。 インストールが終了したら、[ログの保存]を選択してインストールのログファ イル (.csv) を保存できます。

### 複数のデバイスでインストールされたアプリケーションを起 動する

- 1 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [アプリケーションの管理]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [アプリケーションを起動する]を選択し、[次へ]を選択します。
- 3 アプリケーションの選択方法を選択します。

| オプション                             | アクション  |
|-----------------------------------|--|
| 【アプリケーションパッケージを指定】                | <ul> <li>a. [次へ] を選択し、有効なイン<br/>ストールパッケージファイル<br/>(.pkg) を参照します。</li> <li>b. [次へ] を選択し、手順8に進み<br/>ます。</li> </ul> |
| 【デバイスにインストールされている<br>アプリケーションを指定】 | [次へ]を選択します。  |

- 4 デバイスを選択し、[次へ]を選択します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 5 起動するアプリケーションを選択し、[次へ]を選択します。
- **6** ライセンスキーを選択する方法を選択します。

| オプション          | アクション                            |
|----------------|----------------------------------|
| 【ライセンスキーなしで起動】 | 次のステップに進みます。                     |
| 【次のライセンスキーを使用】 | デバイスを選択し、20 桁のライセン<br>スキーを入力します。 |

| オプション           | アクション  |
|-----------------|--|
| 【ライセンスキーをインポート】 | <ul> <li>a. デバイスの有効なライセンスキーファイル (.csv)を参照し、[開く]を選択します。</li> <li>ディーラーから.csvファイルが提供されていない場合、デバイスのシリアル番号とライセンスキー用の列を含む.csv形式のライセンスキーファイルを作成します。.csvファイルの内容が正しくない場合は、[はい]を選択します。</li> <li>b. 「ライセンスキーのマッピング値を選択します。.csvファイルの局づにヘッダーが含まれる場合は、[ファイルにヘッダーあり]を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。</li> </ul> |



- 7 [次へ]を選択します。
- 8 設定を確認し、[完了]を選択してアプリケーションを起動します。 アプリケーションの起動が終了したら、[ログの保存]を選択して起動ログファ イル (.csv)を保存できます。

複数のデバイスでインストールされたアプリケーションを停止する

- 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [アプリケーションの管理]に移動します。
   ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [アプリケーションを停止する]を選択し、[次へ]を選択します。
- 3 次の中から選択します。

| オプション                             | アクション  |
|-----------------------------------|--|
| 【アプリケーションパッケージを指定】                | <ul> <li>a. [次へ] を選択し、有効なイン<br/>ストールパッケージファイル<br/>(.pkg) を参照します。</li> <li>b. [次へ] を選択し、手順6に進み<br/>ます。</li> </ul> |
| 【デバイスにインストールされている<br>アプリケーションを指定】 | 【次へ】を選択します。  |

4 デバイスを選択し、[次へ] を選択します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 5 停止するアプリケーションを選択し、[次へ]を選択します。
- 6 設定を確認し、[完了]を選択します。

# 複数のデバイスでプリケーションをアンインストールする

- 1 任意のデバイスビューから複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]> [アプリケーションの管理]に移動します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 [アプリケーションをアンインストールする]を選択し、[次へ]を選択します。
- 3 アプリケーションの選択方法を選択します。

| オプション                             | アクション  |
|-----------------------------------|--|
| 【アプリケーションパッケージを指定】                | <ul> <li>a. [次へ] を選択し、有効なイン<br/>ストールパッケージファイル<br/>(.pkg) を参照します。</li> <li>b. [次へ] を選択し、手順6に進み<br/>ます。</li> </ul> |
| 【デバイスにインストールされている<br>アプリケーションを指定】 | [次へ]を選択します。  |

4 デバイスを選択し、[次へ]を選択します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 5 アンインストールするアプリケーションを選択し、[次へ]を選択します。
- 6 設定を確認し、[完了] を選択してアプリケーションをアンインストールしま す。

### アプリケーションを検索する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[アプリケーション]に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 検索可能なフィールドのメニューで、[名前] または [バージョン] を選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツー ルバーで [サーチのクリア] を選択します。

### デバイス通知を設定する

デバイス状況の変更の通知を管理します。通知は、1つ以上のイベントがトリガーと なります。たとえば、紙づまりで通知を実行するように設定することができます。

メール通知を送信する前に、次を確認します。

- TCP ポート 25 が使用可能であり、ファイアウォールまたはウィルススキャナー でブロックされていないこと。
- メール設定は、[編集]>[オプション]>[メール設定] で構成します。
  - 1つ以上のデバイスを選択し、[デバイス] > [通信設定] に移動します。
  - 2 1つ以上の通知のアクションを選択します。

ポップアップウィンドウを表示

通知がトリガーされるたびにポップアップウィンドウを表示します。

Windows のイベントログを表示 Windows のイベントログを開き、トリガーされた通知を表示します。

次のアドレスにメールを送信

指定されたメールアドレスに通知を送信します。テキストボックスに、 メールアドレスをコンマで区切って入力します。

3 通知のトリガーとなるイベントを1つ以上指定します。



**4** [OK] を選択します。

デバイス通信設定を構成する



- **1** 任意のデバイスビューまたは部門デバイスビューから、管理対象デバイスを右 クリックし、[通信設定] を選択します。
- 2 お使いのデバイスに応じて、使用可能な設定を変更します。

| 設定   | アクション  |
|--|--|
| ネットワークインターフェイス設定<br>デバイスに接続された各ネット<br>ワークインターフェイスカード | 次の使用可能な設定を編集するに<br>は、プライマリーネットワークカー<br>ドを選択します。  |
| の設定が表示されます。  | TCP/IP ポート   |
|  | デバイスに設定されているポー<br>ト番号を入力します。一部の操<br>作では、ロジカルデバイスポー<br>ト経由でコマンドまたはコマン<br>ドファイルが送信されます。プ<br>リントデバイスのホームページ<br>で、ポート番号を設定します。 |
|  | 通信タイムアウト (秒)   |
|  | アプリケーションがデバイスと<br>の接続確立を試行する秒数。  |
|  | SNMP 通信の再試行  |
|  | デバイスとの通信エラー後に通<br>信確立を再試行する回数。   |
|  | <b>Embedded Web Server</b> 管理者パス<br>ワード  |
|  | ウェブインターフェイス経由で<br>デバイスにアクセスするための<br>パスワード。   |
|  | SNMP v1/v2 を使用   |
|  | デバイスのリードコミュニ<br>ティー名とライトコミュニ<br>ティー名を入力します。  |
|  | リードコミュニ<br>ティー名とライト  |
|  | コミュニティー名<br>け <b>SNMP</b> のす   |
|  | べての送受信要求   |
|  | とともに送信され<br>ます。それらの名   |
|  | 前は、デバイス上のコミュニティー   |
|  | 名の値と一致して   |
|  | いる必要かめりま<br>す。   |
|  | <br>SNMP v3 を使用  |
|  | デバイスに設定されているログ   |
|  | 1 ン  |

| 設定   | アクション   |
|--|---|
| セキュアプロトコル設定<br>Secure Sockets Layer (SSL)<br>は、ネットワーク通信時のセ<br>キュリティーを提供する暗号プ<br>ロトコルです。  | <ul> <li>次の中から選択します。</li> <li>HTTPS を使用する場合、[SSL] を<br/>選択します。</li> <li>HTTP を使用する場合、[SSL] を<br/>クリアします。</li> </ul>   |
| ログイン<br>選択したデバイスでサポートさ<br>れている場合、ユーザーログイ<br>ン情報を設定します。   | 希望するビューに応じて、次のログ<br>インオプションを入力します。<br>・ ユーザー情報の切替<br>・ ログインユーザー名とパスワード<br>・ 認証モードの切替  |
| <ul> <li>部門ポーリング設定</li> <li>部門カウンター情報の確認のため、指定した間隔でデバイスがポーリングされます。</li> </ul>  | <ul> <li>a. [部門カウンターのポーリング]</li> <li>を選択します。</li> <li>b. ポーリング情報の定期スケ<br/>ジュールを設定します。</li> </ul>  |
| <ul> <li>デバイスポーリング設定<br/>指定された間隔でデバイスのエ<br/>ラーや動作の状態、トナー残量<br/>などがポーリングされます。</li> <li>              新門ビューで選択<br/>したデバイスの場<br/>合、「ステータス<br/>のポーリング」設<br/>定のみ使用可能で<br/>す。      </li> </ul> | <ul> <li>次のポーリングモードを特定の間隔</li> <li>で設定します。</li> <li>ステータスのポーリング</li> <li>エラー状況、パネルメッセージ、および動作モードなど、デバイスの現在の動作状態に関する情報が収集されます。</li> <li>カウンターのポーリング</li> <li>カラー印刷ページ数、白黒印刷ページ数、受信したファクスの数など、デバイスに記録されている各種カウンターの値に関する情報が収集されます。</li> <li>トナー量のポーリングデバイスの現在のトナー残量に関する情報が収集されます。</li> </ul> |

**3** [OK] を選択します。

# 拡張機能メニュー

拡張機能メニューにアクセスするには、【デバイス】>【拡張機能】に移動します。次の 設定を使用できます。

複数のデバイスを設定

複数のデバイスに構成パラメーターを同時に送信します。

デバイスを再起動

デバイスまたはデバイスネットワークをリモートで再起動します。

アプリケーションの管理

デバイスでアプリケーションをインストール、アンインストール、アクティブ 化、または非アクティブ化します。

オプション機能を管理

1つ以上のデバイスでインストールされているオプション機能を起動します。

証明書を管理

暗号化されたデバイスの認証と通信情報を含む、有効な(有効期限内の)証明 書をインポート、割り当て、削除します。

ファームウェアのアップグレード

最新のファームウェアをデバイスにインストールします。

デバイスデフォルト設定

両面印刷、印刷品質、ファクス設定など、選択したデバイスのデフォルト設定 を設定します。一回に選択できるのは 1 つのデバイスのみです。

デバイスシステム設定

操作パネルの言語、タイマー設定、パネルロックなどについて、選択したデバ イスのシステム設定を設定します。一回に選択できるのは 1 つのデバイスの みです。

デバイスネットワーク設定

IP アドレス、メール設定、プロトコル設定など、選択したデバイスのネット ワーク設定を設定します。一回に選択できるのは 1 つのデバイスのみです。

ドライバーをインストール

デバイスにプリンタードライバーをインストールします。

- ドライバーをアップグレード プリンタードライバーを、新しいバージョンにアップグレードします。
- ドライバーをアンインストール プリンタードライバーをアンインストールします。

認証設定

ユーザーログインと LDAP 設定、ID が不明のジョブの許可など、選択したデバイスの認証設定を設定します。一回に選択できるのは 1 つのデバイスのみです。

ネットワークグループ

グループ認可で使用するグループを作成、グループ認可のオンおよびオフを行います。

TCP/IP 送信データ

1つまたは複数の選択したデバイスのインターフェイスに、データを直接送信 します。

リモートサービス

この設定を使用して、接続モードとプロキシー設定を構成し、KFS がデバイスと通信してリモートメンテナンスを実行できるようにします。

デバイスを登録

この機能は、デバイスが KFS Manager に未登録の場合にのみ有効です。

# デバイスマルチセット

デバイスマルチセットを使用して、構成パラメーターを1つまたは複数のデバイスに 同時に送信します。

クイックモードでデバイスの設定を作成する

- 1 つまたは複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[複数のデバイ スを設定]に移動します。
- 2 マルチセットモードで、[クイックモード] > [次へ] を選択します。
- 3 デバイスグループで、設定を適用するグループを1つまたは複数選択し、[次 へ]を選択ます。
- 4 ソースデバイスで、デバイスをリストから選択し、[次へ]を選択します。

ローカル認証が有効な場合、管理者はデバイスの通信設定にある ログインセクションでログイン情報を指定する必要があります。マ ルチセットを正しく完了するには、通信設定のソースと目的デバイ スに対するすべての設定およびパスワードが正しくなければなりま せん。

5 設定を確認します。

- ・ 同意するには、[完了]を選択します。
- ・ 変更するには、[戻る]を選択します。

設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。[OK]を選択して閉じます。

### カスタムモードでデバイスの設定を作成する

カスタムモードでは、設定をカスタマイズして、1つまたは複数のデバイスグループ にコピーできます。コピーする設定および使用する方法を選択します。

- 1 任意のデバイスビューから1つまたは複数のデバイスを選択し、[デバイス]> [拡張機能]>[複数のデバイスを設定]に移動します。
- 2 【カスタムモード】 を選択して、 【次へ】 を選択します。

- 3 1つまたは複数のグループを選択し、[次へ]を選択します。
- 4 対象デバイスにコピーする1つまたは複数の設定を選択し、[次へ]を選択します。



- デバイスシステム設定 デバイスの基本設定には、操作パネルの言語、タイマー、セキュリ ティーオプションなどがあります。
- デバイスネットワーク設定 TCP/IP、セキュリティー、およびネットワーク構成の基本設定です。
- デバイスデフォルト設定 印刷、コピー、ファクスジョブなどのデバイス機能のデフォルト動作を 定義する設定で、用紙サイズ、印刷とスキャン品質、およびデフォルト
- の用紙種類が含まれます。
  - デバイスにアクセスするローカルまたはネットワーク認可を定義する設 定です。
- デバイスユーザーリスト 各デバイスのユーザーアカウントに関する情報。
- デバイスアドレス帳

メール、FTP、ファクスなどのアドレス情報。

デバイス文書ボックス

ユーザーボックスおよびファクスボックス。

デバイスネットワークグループ

グループ認可で使用するグループの作成、およびグループ認可のオン、 オフが含まれます。

- デバイスバーチャルメールボックス ID、名前、および最大サイズを含むバーチャルメールボックスが含まれ ています。
- リモートサービス設定

リモートメンテナンスの接続モードおよびプロキシー設定です。

5 次のいずれかを選択し、[次へ] を選択します。



| オプション  | アクション  |
|--|--|
| デバイスから作成<br>ソースデバイスからデバイス設<br>定をコピーします。  | ソースデバイスページで、リストか<br>らデバイスを1つ選択し、[次へ]を選<br>択します。<br>認証を求められたら、<br>ログイン情報を入力しま<br>す。   |
| ファイルからデバイス設定をコ<br>ピーします。   | <ul> <li>a. [参照]を選択し、希望するファ<br/>イルを探します。</li> <li>⇒ お使いのデバイ<br/>スによっては、サ<br/>ポートされている<br/>形式が異なる場合<br/>があります。</li> <li>b. [開く]を選択し、[次へ]を選択<br/>します。</li> <li>c. デバイスユーザーリスト、デバ<br/>イスアドレス帳、あるいは、<br/>デバイス文書ボックスと.csv<br/>ファイルが選択されている場<br/>合、次を実行してください。</li> <li>1. 各プロパティーに対し<br/>て、マッピング値を選択<br/>します。選択されない項<br/>目はスキップされます。</li> <li>2csv ファイルの最初の<br/>行にヘッダーが含まれ<br/>る場合は、[ファイルに<br/>ヘッダーあり]を選択し<br/>ます。ファイルの最初の<br/>行は無視され、データだ<br/>けが使用されます。</li> <li>d. [次へ]を選択します。</li> </ul> |
| 新規作成<br>デバイス設定テンプレートを新<br>規作成します。<br>デバイスグループ<br>で1つ以上のデバ<br>イスが選択されて<br>いる場合、このオ<br>プションは使用で<br>きません。 | 複数のオプションが選択されている<br>場合、次を行います。<br>a. リストから設定グループを選<br>択し、[設定を編集] を選択しま<br>す。<br>b. [OK] > [閉じる] を選択しま<br>す。  |

#### 6 選択内容を確認します。

[設定を編集]が使用可能な場合、このオプションを選択して設定の変更ができます。設定をファイルに保存する場合は、[ファイルに保存]を選択します。複数の設定を選択した場合、ファイルは.zipファイルとして保存されます。変更が必要な場合は[戻る]を選択します。



マルチセットテンプレート (.zip) ファイルは、このアプリケーショ ンのみから生成された XML ファイルで構成されています。

7 [完了] を選択します。



設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッ セージが表示されます。[OK]を選択して閉じます。

- プロセスが正しく完了すると、プロパティーまたは設定は、ソースデバイスから 目的のデバイスにコピーされます。【閉じる】を選択します。
- プロセスが正しく完了しない場合、【詳細】を選択するとエラーリストが表示されます。.csvファイルにエラーリストを保存するには、【エクスポート】を選択します。

### デバイスまたはデバイスネットワークインターフェイスを再起動す る

この機能を使うと、1つ以上のデバイスまたはデバイスネットワークインターフェイスをリモートで再起動できます。

- 1 つまたは複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[デバイスを再 起動] に移動します。
- 2 再起動のタイプを選択し、[次へ]を選択します。

デバイス再起動

選択したプリントデバイスを再起動します。

ネットワーク再起動

選択したプリントデバイスのネットワークインターフェイスを再起動し ます。

3 選択項目を確認し、[完了]を選択します。 認証を求められたら、ログイン情報を入力します。

.csv ファイルに結果を保存するには、【エクスポート】を選択します。

### オプション機能を管理

「オプション機能を管理」を使用すると、1 台以上のデバイスでオプション機能を起動できます。これらの機能はデバイスファームウェアに含まれています。管理者が持っているアクティベートに必要な 20 桁のライセンスキーを使用するか、機能の体験版を使用します。

複数のデバイスでオプション機能を起動する

- 1 複数のデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[オプション機能を管理] に移動します。
- 2 機能名を選択し、[次へ]を選択します。
- 3 [正規] または [体験版] を選択し、[次へ] を選択します。 体験版を選択した場合、手順 6 に進みます。
- 4 ライセンスキーを追加するデバイスを選択します。デバイスは、同じまたは異なるライセンスキーを使用することができます。

| オプション           | アクション   |
|-----------------|---|
| 【ライセンスキーを追加】    | <ul> <li>a. 20 桁のライセンスキーを入力します。</li> <li>b. [OK] を選択します。</li> <li>c. [ライセンスキーをエクスポート] を選択して、ライセンスキーを.csv ファイルに保存できます。</li> </ul>  |
| [ライセンスキーをインポート] | <ul> <li>a. ディーラーから提供された有効なライセンスキーファイル(.csv)を参照します。</li> <li>デバイスのシリアル番号とライセンスキーの列を含むライセンスキーファイルを作成することができます。</li> <li>bcsvファイルの内容が正しくない場合は、[はい]を選択します。</li> <li>1. 「ライセンスキーのマッピング」ダイアログボックスで、各プロパティーのマッピング値を選択します。</li> <li>2csvファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、[ファイルにヘッダーあり]を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。</li> </ul> |

【ライセンスキーをエクスポート】を選択して、ライセンスキーを .csv ファイル に保存できます。

- 5 [次へ] を選択します。
- 6 設定を確認し、[開始]を選択します。 ライセンスの進行状況と結果が表示されます。アプリケーションの起動が終了 したら、[ログの保存]を選択して起動ログファイル (.csv)を保存できます。
- 1台のデバイスでオプション機能を起動する
  - 1 デバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[オプション機能を管理]に移動 します。

認証を求められたら、ログイン情報を入力します。

2 次の起動オプションから選択します。

| オプション  | アクション  |
|--|--|
| 【ライセンスを起動】                                     | <ul> <li>a. 機能を選択し、[ライセンスを<br/>起動]を選択します。</li> <li>b. 20桁のライセンスキーを入力<br/>し、[OK]を選択します。</li> <li>c. [はい]を選択します。</li> <li>ご 必要に応じて、[エ<br/>クスポート]を選択<br/>し、.csv ファイル<br/>に結果を保存しま<br/>す。</li> </ul> |
| 【体験版を起動】<br>→部の機能は体験版の起<br>動ではサポートされてい<br>ません。 | <ul> <li>a. 1つまたは複数の機能を選択し、[体験版を起動]を選択します。</li> <li>b. [はい]を選択します。</li> <li>ご 必要に応じて、[エクスポート]を選択し、.csvファイルに結果を保存します。</li> </ul>  |

**3** [閉じる] を選択します。

ファームウェアをアップグレードする

管理者またはディーラーから提供されたマスターファイルから、より新しいバージョ ンのファームウェアを1台以上のデバイスに展開できます。



- マスターファイルのバージョンが、デバイスファームウェアのバージョンよりも古い場合、ファームウェアのレベルはダウングレードされます。
- TCP ポート 800 899 がファイアウォールまたはウィルススキャナー でブロックされていないことを確認してください。
- ・ プロセス中にはデバイスの電源が入っているようにしてください。
- 使用するロジカルプリンターの「ジョブのはじめ」は空欄にする必要 があります。デバイスのホームページに移動し、設定を確認します。
- ローカル認証がオンの場合、[デバイス] > [通信設定] > [ログイン] で ログイン情報を指定する必要があります。一部のデバイスでは、ユー ザー名とパスワードでのログインはサポートしていません。対象デバ イスに対するすべての設定とパスワードが通信設定で正しくなければ なりません。
- アップグレード中の重要な時点でデバイスがオフになったり停電になっ たりすると、デバイスは操作不能となり、故障したコンポーネントの交換 サービスが必要になる場合があります。管理者またはサポートグループで このプロセスをレビューし、緊急時の対応計画を立てます。
- 1 任意のデバイスビューで、管理対象デバイスを最大5台選択します。
- 2 [デバイス]>[拡張機能]>[ファームウェアのアップグレード]に移動します。 選択したデバイスのファームウェアが異なる場合、ファームウェアのアップグ レード機能は使用できません。
- 3 警告情報をお読みください。警告を理解し承諾する場合、チェックボックスを オンにし、[次へ]を選択します。
- 4 有効なファームウェアファイルを参照し、[次へ]を選択します。
- 5 詳細を確認します。
  - ファームウェアファイルの有効性を確認できない場合は、[戻る]を選択し、 他のファームウェアファイルを参照します。
  - [アップグレード]を選択します。



- **6** 結果を確認します。
  - 複数のデバイスをアップグレードする場合、[キャンセル]を選択し、キュー に残っているデバイスのプロセスを中止できます。



- 【ログの保存】を選択すると、ログを.csvファイルとしてエクスポートできます。
- 【閉じる】を選択します。

### 認証設定を構成する

ローカルデバイスユーザーまたはネットワークユーザーのデバイス専用のログイン設 定を管理します。

1 任意のデバイスビューから、管理対象デバイスを右クリックし、[拡張機能] > [認証設定] を選択します。



- 認証設定を構成するには、管理対象のデバイスに接続する必要 があります。
- 各デバイスにこの手順を繰り返して、一度に最大3台のデバイ スを構成できます。
- 2 お使いのデバイスに応じて、使用可能な設定を変更します。

| 設定                                   | アクション   |
|--------------------------------------|---|
| 【ユーザーログインを有<br>効にする】                 | 次のいずれかを選択します。   |
| <b>[ID</b> が不明のジョブを許<br>可する <b>]</b> | <ul> <li>選択した場合、すべてのユーザーがデバイスにア<br/>クセスできます。選択しない場合、デバイスは<br/>ユーザーログインで構成されたユーザーに制限されます。</li> <li>デバイスのユーザーログインを確認または変更するには、次を行います。</li> <li>a. コントロールパネルで、[デバイ<br/>スとプリンター]を選択します。</li> <li>b. お使いのデバイスを右クリック<br/>し、[プリンターのプロパティ]<br/>を選択します。</li> <li>c. [デバイス設定]&gt;[管理者設定]&gt;<br/>[ユーザー管理]に移動します。</li> </ul> |
| [ローカル認可]                             | この機能をサポートするデバイスで、特定のユー<br>ザーによるジョブの使用を禁止します。  |

| 設定                            | アクション   |
|-------------------------------|---|
| [簡単ログイン]                      | デバイスパネルでユーザーがアカウントを選択す<br>るよう設定し、必要に応じてログイン詳細の提供<br>を求めます。  |
| [PIN コードログイン]                 | ユーザーがデバイスで PIN コードを入力するよう<br>設定します。<br>この設定が使用できるのは、「ネット<br>ワーク認証を使用」を選択した場合、<br>およびサーバータイプが Ext. である場<br>合のみです。  |
| <b>[IC</b> カードログイン設定 <b>]</b> | キーボードログインとパスワード認証設定を構成<br>できます。<br>この設定は、IC カード認証キットが<br>デバイスで構成されている場合のみに<br>使用できます。   |
| [ネットワークユーザー<br>プロパティー]        | <ul> <li>a. [ネットワークユーザープロパティーの取得]<br/>を有効または無効にします。</li> <li>b. LDAP の設定で、次を指定します。 <ul> <li>[サーバー名]</li> <li>[ポート番号]</li> <li>[歳索のタイムアウト]</li> <li>[暗号化]</li> <li>[認証タイプ]</li> </ul> </li> <li>c. 「ユーザー情報の取得」で、LDAP サーバーからユーザー情報を検索するときにデバイスが使用する次の項目を指定します。 <ul> <li>[名前 1]、[名前 2]</li> <li>[メールアドレス]</li> </ul> </li> </ul> |

**3** [OK] を選択します。

ネットワークグループ

デバイス上で追加されたネットワークグループを管理します。

ネットワークグループを追加する

1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[ネットワークグループ]に移動します。

・ 認証が設定されている場合、設定にアクセスするには、デバイ スの通信設定で正しいログイン情報が必要になります。

- 認証が設定されていない場合、デバイスによってはログインダ イアログボックスが表示される場合があります。
- 2 [グループの追加] を選択します。
- 3 グループ ID で、一意のグループ ID を入力します。
- 4 グループ名で、グループの名前を入力します。
- 5 アクセスレベルを [ユーザー] または [管理者] に設定します。
- 6 ジョブ認可設定セクションで、使用可能なデバイス機能にグループのアクセス を設定します。



デバイスがサポートしない設定は無効になります。

許可

選択したデバイス機能へのアクセスを有効にします。

禁止

選択したデバイス機能へのアクセスを無効にします。

すべて許可

すべてのデバイス機能へのアクセスを有効にします。



両面制限、集約制限、およびエコプリント制限の設定 は、[オフ] に設定されます。

すべて禁止

すべてのデバイス機能へのアクセスを無効にします。

両面制限、集約制限、およびエコプリント制限の設定は、 最も高い制限オプションに設定されます。

**7** [OK] を選択します。

編集するには、グループを選択し、[プロパティー]を選択します。必要に応じて、 ジョブ認可設定を変更し、[OK]を選択します。



削除するには、グループを選択し、【グループの削除】>【はい】を選択します。

「その他」グループは削除できません。このグループはアプリケーショ ンで使用されています。
# グループ認可を設定する

グループ認可を有効にすると、グループに設定された権限内でユーザーに操作を許可 します。この機能は、すべてのネットワークグループのグループ認可をアクティブ化 または非アクティブ化します。

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[ネットワークグループ] に移動します。
  - ・ 認証が設定されている場合、設定にアクセスするには、デバイスの通信設定で正しいログイン情報が必要になります。
     ・ 認証が設定されていない場合、デバイスによってはログインダイアログボックスが表示される場合があります。
- 2 ツールバーから、[グループ認可を使用]を選択します。
- 3 [オン] を選択してグループ認可をアクティブ化するか、[オフ] を選択してグ ループ認可を非アクティブ化します。
- **4** [OK] を選択します。

グループリストを検索する

- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[ネットワークグループ]に移動します。
- 2 検索可能なフィールドのメニューで、検索するタイプを選択します。
- 3 検索テキストボックスに、検索するテキストを入力します。



# TCP/IP データを送信する

この機能は、1つ以上のデバイスのインターフェイスにデータファイル、テキスト、 またはデバイスコマンドを直接送信します。

- これは拡張機能です。使用方法を誤ると、デバイスが動作しなくなるこ とがありますので、ご注意ください。
- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス] > [拡張機能] > [TCP/ ⅠP 送信データ] に移動します。
  - ・ 認証が設定されている場合、設定にアクセスするには、デバイ スの通信設定で正しいログイン情報が必要になります。
    - 認証が設定されていない場合、デバイスによってはログインダ イアログボックスが表示される場合があります。

2 次のいずれかの通信方法を選択します。

デフォルト **TCP** ポート

デバイス上で設定されたデフォルトの TCP ポートを使用します。

指定された TCP ポート

デバイス用に使用する TCP ポートを指定します。ポートメニューから、ポート番号を入力します。

ポート番号は、デバイスのホームページで定義した、いず
 れかのロジカルデバイスのポート番号と一致する必要があります。

IPPS

IPPS を使用してデータを送信します。パスのテキストボックスから、 有効なパスを入力します。

- **3** 次のデータタイプを1つ以上選択します。
  - ・ テキストとファイルを選択した場合、アプリケーションは先に テキストデータを送信してからファイルデータを送信します。
    - アプリケーションはテキストボックスに表示される順に {#FILE#} コマンドとテキストを送信します。バイナリデータ は 16 進数の 0x 文字列プレフィックスを使用したバイト形式で テキストに表示できます。
    - お使いのデバイスによっては、一部のオプションが使用できない場合があります。

| タイプ    | アクション  |
|--------|--|
| 【テキスト】 | <ul> <li>a. [テキスト] を選択します。</li> <li>b. テキストフィールドで、送信するテキストを<br/>入力します。</li> </ul>                                |
|        | <ul> <li>・ PRESCRIBE コマンドを送信<br/>できます。</li> <li>・ 過去に送信した 10 件のテキ<br/>スト文字列にアクセスするに<br/>は、[履歴]を選択します。</li> </ul> |
| 【ファイル】 | <ul> <li>a. [ファイル]を選択します。</li> <li>b. 送信するファイルを参照します。マクロまたは印刷可能ファイル (.pdf、.prn ファイルなど)を送信できます。</li> </ul>        |

4 [送信] を選択します。

### リモートサービスを有効にする

一部のデバイスで使用可能で、リモートサービスを有効にしてデバイスを KFS に接続できます。

**1** 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[リ モートサービス] に移動します。

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

- 2 リモートサービスで、[オン] を選択します。
- 3 接続モードで、[管理] または [監視] を選択します。
- 4 管理を選択した場合、次の設定を構成します。

有効期限

リモートサービスの有効期限を有効にし、設定します。

リモート操作

リモートサービスの使用を許可するユーザーを有効にし、設定します。

- 5 プロキシーサーバー使用が必要な場合、プロキシー設定でさらに設定を構成します。
- **6** [OK] を選択します。

### デバイスを登録する

リモートメンテナンス用にデバイスを KFS に登録します。

- この機能は、一部のデバイスのみで使用できます。
- 1 任意のデバイスビューからデバイスを選択し、[デバイス]>[拡張機能]>[デバ イスを登録] に移動します。
- 2 要求される情報を入力します。
- **3** [OK] を選択します。

# 5 部門

お使いのデバイス上のアカウント、および特定の部門に関連付けられたデバイスを管理します。

### デバイスを管理する

デバイスの管理時には、部門の作成と表示、通知とレポート機能の使用、およびカウ ンターの表示とリセットが可能です。

- 1 いずれかの部門デバイスビューで、デバイスを右クリックし、次のオプションのいずれかを選択します。
  - ・ [デバイスの管理]



• 【デバイスを管理対象外にする】



デバイスが管理対象外の場合、このアプリケーションで使用で
 きる機能とオプションは限定されます。

2 管理対象外のデバイスの表示と非表示を切り替えるには、[部門]>[管理対象外 のデバイスの非表示/表示]に移動します。

### 部門デバイスを追加する

- 1 任意の部門ビューで部門を選択し、[部門]>[デバイスを部門に追加]に移動します。
- 2 部門に追加するデバイスを1つまたは複数選択します。



管理対象のデバイスのみを追加できます。

**3** [OK] を選択します。

# 新規部門を作成する

1 任意の部門ビューで、1つ以上の管理対象デバイスを選択し、[部門]>[新規部 門]に移動します。



2 部門コードと名前を入力します。

**3** [OK] を選択します。

# 部門とデバイスを表示する

- 1 任意の部門ビューで、次のいずれかを実行します。
  - 部門デバイスビューで、管理対象デバイスを選択します。
  - 部門ビューで、部門を選択します。
- 2 選択内容に応じて、以下に進みます。

| オプション                     | 説明   |
|---------------------------|--|
| [部門] > [この部門のデ<br>バイスを表示] | 特定の部門に関連付けられているデバイスについ<br>ての情報を表示します。  |
|                           | <ul> <li>デバイスを追加または削除する</li> <li>部門デバイスレポートをエクスポートする</li> </ul>  |
| 【部門】> 【このデバイス<br>の部門を表示】  | 管理対象デバイスに関連付けられている部門につ<br>いての情報を表示します。   |
|                           | <ul> <li>新規部門を作成する</li> <li>既存の部門を追加または削除する</li> <li>デバイス部門設定を管理する</li> <li>デバイス部門レポートをエクスポートする</li> </ul> |

# 部門のプロパティーを表示する

カウンターに関する部門固有の情報を表示し、使用制限を設定します。

1 任意の部門デバイスビューで、管理対象デバイスをダブルクリックします。



2 部門をダブルクリックし、プロパティーを確認します。



一般

ID 番号とアカウント名。

機能別のカウンター

印刷、コピー、またはファクス受信したページ数。

用紙別カウンター

各メディアサイズまたはタイプで使用されたページ数。

両面印刷/ページ集約のカウンター

片面印刷、両面印刷および 2 in 1 や 4 in 1 などのページ集約用のページ 数。

スキャンページのカウンター

コピー、ファクス、その他の機能でスキャンされたページ数。

ファクス (送信) のカウンター

ファクスされたページ数、および合計送信時間。

#### タイムスタンプ

カウンターが最後に更新された日付と時刻。

#### 機能別の使用制限

印刷、コピー、スキャン、またはファクス受信できるページ数の制限を 設定する。

オフ

使用は制限されません。

カウンター制限

使用制限値を設定し、最大値に達したら制限値をリセットする。

#### 使用禁止

使用が制限されます。

カウンターのリセット

カウンターをすべて**0**にリセットする。



部門情報を更新するには、[デバイスカウンターの更新]を選択し ます。デバイスのカウンターを手動で更新する場合、[部門]>[カウ ンターをリセット] に移動します。

3 [OK] を選択して変更を保存するか、[キャンセル] を選択します。

### 現在の部門の詳細をエクスポートする

任意の部門ビューから、すべての管理対象デバイスに関する部門の詳細を .csv または .xml ファイルにエクスポートできます。

.csv ファイルへのエクスポートには、UTF-8 エンコードが使用されます。

1 マイビューまたはデフォルトビューで、任意の部門ビューを選択します。

2 【ファイル】>【エクスポート】>【部門】 に進み、オプションを選択します。

| オプション   | 説明   |
|---------|--|
| 【部門コード】 | プリンタードライバーにインポート可能なすべて<br>の管理対象デバイスのリストをエクスポートしま<br>す。<br>部門コードは、.csv ファイルにのみエ<br>クスポートできます。 |
| 【カウンター】 | すべての管理対象デバイスと部門の詳細なカウン<br>ター情報をエクスポートします。  |
| [情報]    | 一部のカウンター情報を含む、すべての管理対象<br>デバイスの部門情報の概要をエクスポートしま<br>す。  |

- 3 エクスポートの詳細を入力します。
  - ファイルの場所
  - ファイル名
  - ファイルの種類
- 4 [保存]を選択します。

# 特定のデバイスまたは部門の詳細をエクスポートする

任意の部門ビューから、特定のデバイスまたは部門情報を .csv または .xml ファイル にエクスポートできます。

- .csv ファイルへのエクスポートには、UTF-8 エンコードが使用されます。
- 1 マイビューまたはデフォルトビューで、任意の部門ビューを選択します。
  - 任意の部門ビューで、1つまたは複数の管理対象デバイスを選択し、[部 門] > [このデバイスの部門を表示] に移動します。
  - 任意の部門ビューで部門を選択し、[部門]>[このデバイスの部門を表示] に 移動します。
- 2 1つまたは複数のエントリーを選択し、[エクスポート]を選択します。
- **3** 次のオプションから選択します。

| オプション   | 説明   |
|---------|--|
| 【部門コード】 | プリンタードライバーにインポート可能な部門<br>コードリストをエクスポートします。 |
|         | 部門コードは.csv ファイルにのみエ<br>クスポートできます。          |

| オプション    | 説明   |
|----------|--|
| 【カウンター】  | デバイスのカウンター情報をエクスポートしま<br>す。                |
| [情報]     | 選択したカウンター情報を含む、デバイスの部門<br>情報の概要をエクスポートします。 |
| 【プロパティー】 | すべての部門のプロパティー情報をエクスポート<br>します。             |
|          | このオプションは、デバイスの部門で<br>のみ使用可能です。             |

「このデバイスの部門を表示」を選択した場合、「デバイスの部
 「」エクスポートのオプションを選択した後にメッセージが表示されます。

- すべてのエントリーの詳細をエクスポートするには、[はい]を 選択します。
- 選択した部門の詳細のみをエクスポートするには、[いいえ] を 選択します。
- 4 エクスポートの詳細を入力します。
  - ファイルの場所
  - ファイル名
  - ファイルの種類
- 5 [保存] を選択します。

### カウンターレポートを追加する

部門ビューには、1 つ以上の部門のデバイスカウンター情報を含む、1 つのカウン ターレポートを含めることができます。カウンターレポートは、定期的なメール で、.csv または .xml 形式の添付ファイルとして、1 人以上の受信者に送信できま す。

カウンターレポートを追加するには、メール設定の[編集] > [オプション] を設定する必要があります。

- マイビューで、任意の部門ビューを選択し、[部門]>[カウンターレポートを追加]に移動します。
- 設定を構成します。



デバイスのカウンターレポートが問題なく送信された際に、デバ イスのカウンターをゼロにリセットするには、[カウンターの自動 リセット]を選択します。

3 [OK] を選択します。



既存の現在のレポートのリストを表示するには、「部門]>「カウンターレポートの表 示]に移動します。

- レポートの設定を表示または変更するには、レポートを選択し、[プロパティー] を選択します。
- 1つ以上のレポートを削除するには、1つ以上のレポートを選択し、「削除]を選択 します。

カウンターを手動でリセットするには、任意の部門ビューから1つ以上 の管理対象デバイスまたは部門を選択し、項目を右クリックして、【カウ ンターをリセット]を選択します。

# 部門カウンターステータス通知を設定する

いずれかの部門のデバイスカウンターが警告レベルまたはカウンター制限を超えた場 合、通知設定を構成することで、通知を受け取ることができます。

この通知設定オプションは、管理対象デバイスにのみ使用可能です。

- 1 任意の部門デバイスビューで、管理デバイスを右クリックし、[通信設定] を選 択します。
- 2 1つまたは複数の通知方法を選択します。
  - 【ポップアップウィンドウを表示】
  - [Windowsのイベントログを表示]



- 【次のアドレスにメールを送信】
  - TCP ポート 25 が使用可能であり、ファイアウォールまたは • ウィルススキャナーでブロックされていない必要がありま す。
    - ・ [編集] > [オプション] で、メール設定を構成する必要があり ます。
    - メールアドレスは3件までのみ追加できます。
- 3 通知のトリガーとなるイベントを1つ以上選択します。
  - 【カウンターが警告レベルを超えたら通知する】
  - [カウンターがカウンター制限を超えたら通知する]
- **4** [OK] を選択します。

### デバイスの部門管理設定を構成する

デバイスの部門管理設定を使用して、管理対象デバイスを制御または監視します。

- 1 任意の部門デバイスビューで、管理デバイスを右クリックし、【デバイスの部門 管理設定】を選択します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- 2 印刷設定を確認します。



一般

ネットワークと部門情報を参照します。

#### 部門管理

さまざまなデバイス機能の部門管理を有効または無効にします。

#### 用紙種類

各カウンターの用紙サイズおよび用紙種類を設定します。

エラーハンドリング

不正な部門エラー時、またはカウンター制限を超えた場合に、エラーレ ポートを印刷、警告を表示、またはジョブをキャンセルします。

その他

デバイスの部門がないジョブの処理を許可または禁止し、印刷とコピー のカウンターを分離または集約するよう選択します。

3 [OK] を選択します。

### 部門のマルチセット

部門リストおよびデバイス部門設定を複数のデバイスに同時に展開します。

1 任意の部門デバイスビューで、設定を変更する1つまたは複数の管理対象デバ イスを選択します。



- 2 選択したデバイスを右クリックし、[複数の部門デバイスを設定]を選択します。
- 3 マルチセットを適用するデバイスグループを選択します。



マルチセットをサポートするデバイスのみが表示されます。デバイスは、モデルグループ別に編成されます。

4 デバイスグループに適用する設定のタイプを選択し、[次へ]を選択します。

デバイスの部門管理設定

「部門管理」、「用紙種類」、「エラーハンドリング」、「部門コード がないジョブの処理を許可」、および「コピーカウンタ設定」の設定が 含まれます。

部門リスト

デバイスの部門に関連した、印刷、コピー、スキャン、およびファクス のカウンター情報が含まれます。

- 5 マルチセットのオプションを選択し、[次へ]を選択します。
  - ・ 部門リストで、[ターゲットデバイス設定の上書き保存] を選択 します。選択した場合、既存のカウンターをリセットするかど うかを指定します。
    - デバイス管理では、マルチセットはすべての設定を自動的に上 書きします。

| オプション      | アクション   |
|------------|---|
| 【デバイスから作成】 | ソースデバイスを選択し、 [次へ] を選択します。   |
| 【ファイルから作成】 | マルチセットテンプレート (.xml または .csv) を参<br>照し、[開く] > [次へ] を選択します。   |
|            | 必要に応じて、すべてのファイル選択<br>の問題を解決し、このステップを繰り<br>返します。   |
|            | 部門リストで.csv テンプレートを選択した場合、それぞれの部門のプロパティーに対してファイルの列にマッピングする必要があります。マッピングされていない項目はスキップされます。ファイルの最初の行を無視するには、[ファイルにヘッダーあり]を選択します。   |
| 【新規作成】     | <ul> <li>デバイスの部門で、デバイスの部門設定で使用<br/>可能な項目を構成し、[OK] を選択します。</li> <li>部門リストでオプションを選択します。</li> <li>新規部門を追加するには、[新規部門] を選択<br/>し、部門情報を指定します。</li> <li>既存の部門を追加するには、[部門を追加] を<br/>選択し、1つ以上の項目をリストから選択し<br/>ます。それぞれの追加された部門について、<br/>プロパティーの確認と変更が可能です。</li> </ul> |

6 設定を確認します。



- 7 [完了] を選択します。
  - 保存を設定するには、デバイスを再起動する必要がある場合があります。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - .csv ファイルに結果を保存するには、【エクスポート】を選択します。
  - 【閉じる】を選択します。

**6** ホスト

プリンタードライバーと印刷キューを管理します。ホストコンピューターでプリン タードライバーをインストール、アップグレード、またはアンインストールしたり、 ログインの設定をしたりするには、ホストビューを使用します。

### ホストの検出

この機能は、ネットワークのホストコンピューターを検索します。新しいホストが検 出された場合、アプリケーションはそのホストの情報でデータベースを更新します。 このプロセスは、単一または複数のホストに対して手動で実行するか、スケジュール に従って自動的に実行することができます。また、ホストを検出から除外することも できます。

### ホストサービスを有効にする

アプリケーションがホストを検出するには、 Windows Management Instrumentation (WMI) と Remote Procedure Call (RPC) サービスが、ホストコンピューターと、アプリケーションがインストールされているコンピューターで有効である必要があります。

### 署名済みドライバーの証明書をインストールする

ハードウェア関連のドライバーには、デジタル署名が必要です。署名済みドライバー をインストールする前に、Windows には信頼された証明書が必要です。Microsoft が 署名したドライバーの場合、証明書はすでにインストールされています。製造者が署 名したドライバーの場合、証明書をホストコンピューターにインストールする必要が あります。

- ドライバーパッケージから、オペレーティングシステムに応じて、適切なセキュリティーカタログ (.cat) ファイルを開きます。
- 2 [署名の表示] > [証明書の表示] > [証明書のインストール] を選択します。
- 3 ストアの場所を選択し、[次へ] を選択します。
- 4 [証明書をすべて次のストアに配置する]を選択し、[参照] をクリックします。
- 5 「証明書ストアの選択」で、【信頼された発行元】を選択し、[OK] をクリック します。
- 6 [次へ] > [完了] を選択します。

### WMIを有効にする

アプリケーションがホストを検出するには、 Windows Management Instrumentation (WMI) サービスが、ホストコンピューターと、アプリケーションがインストールされ ているコンピューターで有効である必要があります。

- 1 各コンピューターで、[スタート]>[コントロールパネル]>[システムとセキュ リティー]>[管理ツール]>[コンピューターの管理] に進みます。
- 2 コンピューターの管理で、[サービスとアプリケーション]を選択します。
- 3 [WMI コントロール] を右クリックし、[プロパティー] を選択します。
- 4 セキュリティーで、【セキュリティー】を選択します。
- **5** 「グループ名またはユーザー名」リストで、 **[Administrators]** を選択します。
- 6 Administrators のアクセス許可で、[リモートの有効化] を許可します。

### RPC を有効にする

アプリケーションがホストを検出するには、Remote Procedure Call (RPC) サービ スが、ホストコンピューターと、アプリケーションがインストールされているコン ピューターで有効である必要があります。

- 1 各コンピューターで、【スタート】>【コントロールパネル】>【システムとセキュ リティー】>【管理ツール】>【コンピューターの管理】に進みます。
- コンピューターの管理で、[サービスとアプリケーション]>[サービス]> [Remote Procedure Call (RPC)] を選択します。 サービスが起動していることを確認します。必要に応じて、[Remote Procedure Call (RPC)] を右クリックし、[開始] を選択します。

ホストを追加する

- [ホスト]>[検出]>[ホストの追加] に進みます。
   ドメイン管理者のログイン情報を提供する必要がある場合があります。
- **2** オプションを選択して、[次へ] を選択します。

| オプション  | アクション        |
|--|--------------|
| 現在のドメインを検索<br>ドメイン内のす<br>べてのホストをス<br>キャンします。 | 次のステップに進みます。 |

| オプション  | アクション  |
|--|--|
| Active Directory を参照<br>ドメイン内にあ<br>る選択されたディ<br>レクトリーで、す<br>べてのホストをス<br>キャンします。 | ドメイン内の Active Directory グループを選択しま<br>す。  |
| IP アドレス範囲を指定<br>ドメイン内の指定<br>の IP アドレス範<br>囲で、すべてのホ<br>ストをスキャンし<br>ます。          | <ul> <li>IPv4 または IPv6 の開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力し、[追加] を選択して、「選択されたネットワークセグメント」リストに追加します。</li> <li>IP アドレス範囲を削除するには、「選択されたネットワークセグメント」リストで選択してから、[削除] を選択します。</li> </ul>   |
| IP アドレスの指定<br>ドメイン内の特<br>定のアドレスを使<br>用してホストをス<br>キャンします。                       | <ul> <li>次の方法を選択します。</li> <li>IPv4 または IPv6 アドレス、またはホスト名を<br/>入力し、[追加] を選択して「選択されたター<br/>ゲット」リストに追加します。</li> <li>[インポート] を選択して、IP アドレスリストを<br/>使用します。</li> <li>「選択されたターゲット」リストから<br/>IP アドレスまたはホスト名を削除する<br/>には、IP アドレスまたはホスト名を選<br/>択してから、[削除] を選択します。</li> </ul> |

3 定期検出のスケジュールを設定するか、[次へ]を選択してすぐに開始します。

4 詳細を確認して、[完了]を選択します。 新しく追加されたホストは、ホストビューに表示されます。

削除するには、ホストを右クリックし、[削除]を選択します。

ドライバー情報とキュー情報も削除されます。

# 自動ホスト検出のスケジュールを設定する

定期的な検出処理を実行するよう、スケジュールを設定します。ホストがネットワークに頻繁に追加される、またはネットワークから削除される場合、定期的に検出を実行すると、ホストデータベースを最新の状態に保つことができます。

- 1 [ホスト]>[検出]>[自動検出]に移動します。
- 2 「スケジュールされている検出」で、次のいずれかを行います。

- 新しい検出方法を作成するには、[追加]を選択します。定期検出のスケジュールを設定して、[完了]を選択します。
- ・ 検出のスケジュールを削除するには、[削除]を選択します。
- 既存の検出モードを編集するには、[プロパティー]を選択します。定期検出 のスケジュールを設定して、[変更を適用]を選択します。
- 3 [閉じる] を選択します。

検出からホストを除外する

セキュリティー上の理由から、ホストを検出処理から除外して、ビューから削除しま す。

- 1 ホストビューで、1つまたは複数の除外するホストを選択します。
- 2 選択内容を右クリックして、[削除]を選択します。

削除されたホストを追加するには、[ホスト]>[検出]>[除外されたホスト]に移動 し、1つ以上のエントリーを選択して、[ホストを含める]を選択します。

キューを追加する

- 1 任意のホストビューから、[ホスト]>[新しいキュー] に移動します。
- 2 1つまたは複数のホストを選択し、[次へ]を選択します。 ログイン情報の提供が必要になる場合があります。
- **3** デバイスを選択し、[次へ] を選択します。
- 4 [ディスク使用]を選択し、デバイスに有効な .inf ファイルを参照します。
  - ホストのシステムタイプに応じて、適切な 32 ビットまたは 64ビットの .inf ファイルを選択してください。
- 5 [OK] > [次へ] を選択します。
- 6 各ホストのデバイス設定を確認します。
  - 「選択されたプリンターモデル」で、各項目を選択して設定を編集しま す。
  - 【共通設定】を選択し、ホストに依存しない設定を構成します。

初期設定

[はい] を選択した場合、.kxp ファイルを参照します。ファイルを アップロードした後、使用可能なプロファイルからオプションを選 択できます。

[いいえ]を選択した場合、初期設定のプロファイルは変更されません。

プラグイン

1つまたは複数のオプションを選択します。

コメント

カスタマイズされたメモを共通設定に追加します。

開く

構成設定ファイル (.kvp) を参照します。

```
保存
```

共通設定を構成ファイルにエクスポートします。

• 【競合】を選択し、特定の条件が満たされている場合のインストールの動作を 管理します。

| 条件               | オプション  |
|------------------|--|
| プリンターが存在する<br>場合 | <ul> <li>設定を保持</li> <li>現在のデバイス設定は保持され、プリンターはインストールされません。</li> <li>上書き</li> <li>現在のデバイス設定は新しい構成に置き換えられます。</li> </ul>                             |
| ドライバーが存在する<br>場合 | 何もしない<br>現在のプリンタードライバー設定は保持さ<br>れ、新しいドライバーはインストールされ<br>ません。<br>アップグレード<br>現在のプリンタードライバーは新しいバー<br>ジョンにアップグレードされます。                                |
| 共有名が存在する場合       | <ul> <li>末尾に数字を追加<br/>追加の文字が既存の共有名に追加されま<br/>す。</li> <li>失敗<br/>デバイスはインストールされません。</li> <li>共有なし<br/>デバイスはインストールされますが、共有<br/>がオフになります。</li> </ul> |

| 条件                | オプション  |
|-------------------|--|
| ポートが使用可能でな<br>い場合 | ファイル、 <b>LPT1</b><br>選択したポートでインストールが試行され<br>ます。<br>失敗<br>デバイスはインストールされません。 |

- .kvp ファイルからデバイス設定を追加するには、【インポート】を選択します。
- 現在のデバイス設定を.kvpファイルとして保存するには、【エクスポート】を選択します。
- 7 [次へ] を選択し、設定を確認します。
- 8 [完了]をクリックして新しいキューを作成します。
- 9 キューの作成結果を確認します。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - .txt ファイルに結果を保存するには、[エクスポート] を選択します。
  - [OK] を選択します。

キューを削除するには、リストから選択し、[キューの削除]を選択します。

### キュー名を編集する

- 1 任意のホストビューで、キューを右クリックし、[名前の変更]を選択します。
- 2 キューの新しい名前を入力し、[編集]を選択します。
- **3** 結果を確認します。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - [完了] を選択します。

# プリンタードライバーの管理

プリンタードライバーアプリケーションは、デバイスからの出力をカスタマイズする ための設定を提供します。プリンタードライバーは、ホストコンピューターにリモー トでインストールできます。インストールすると、ドライバーをアップグレードまた はアンインストールできます。

- ホストプリンタードライバーを管理するには、ホストコンピューター に接続する必要があります。
  - プリントスプーラーでクライアント接続を許可し、着信リモート管理の例外を許可するには、管理者は、Windows ローカルグループポリシーエディターでポリシーを設定する必要がある場合があります。

プリントスプーラーにクライアント接続を許可する

- Windows グループポリシーエディターで、【コンピューターの構成】>【管理用 テンプレート】>【プリンター】に移動します。
- 2 【プリントスプーラーでクライアント接続を許可】をダブルクリックします。
- 3 [有効] > [OK] を選択します。

プリントスプーラーを再起動して、ポリシーの変更を有効にします。

リモート管理の例外を許可する

- 1 Windows グループポリシーエディターで、[コンピューターの構成] > [管理用 テンプレート] > [ネットワーク] > [ネットワーク接続] > [Windows ファイアー ウォール] に移動します。
  - コンピューターがドメイン上にある場合は、[ドメインプロファイル]を選択します。
  - コンピューターがドメイン上にない場合は、[標準プロファイル]を選択します。
- [Windows Defender ファイアーウォール:着信リモート管理の例外を許可す る]をダブルクリックします。
- 3 [有効] > [OK] を選択します。

# プリンタードライバーをインストールする

1 選択したビューに応じて、次を実行します。

| ビュー         | アクション  |
|-------------|--|
| デバイス<br>ビュー | <ul> <li>a. 1つ以上のデバイスを選択し、[デバイス]&gt;[拡張機能]&gt;[ドライバーをインストール]に移動します。</li> <li>b. 1つ以上の接続されているホストコンピューターを選択し、[次へ]を選択します。</li> <li>ログイン情報の提供が必要になる場合があります。</li> <li>c. 各デバイスについて、[ディスク使用]を選択し、有効な.infファイルを参照します。</li> </ul> |
|             | <ul> <li>ホストのシステムタイプに応じて、適切な 32 ビットまたは 64 ビットの.inf ファイルを選択してください。</li> <li>GK] &gt; [次へ] を選択します。</li> </ul>  |

| ビュー    | アクシ | ション  |
|--------|-----|--|
| ホストビュー | a.  | 1 つ以上の接続されているホストコンピューターを選<br>択し、【ホスト】 > 【ドライバーのインストール】 に移動し<br>ます。                                   |
|        | b.  | デバイスのステータスに応じて、インストールのオプ<br>ションを選択します。   |
|        |     | <ul> <li>デバイスがデバイスビューに表示され、ネットワー<br/>クで使用可能な場合は、【デバイスありでドライバー<br/>をインストール】&gt;【次へ】を選択します。</li> </ul> |
|        |     | <ol> <li>デバイスを1つ以上選択し、[次へ] を選択し<br/>ます。</li> </ol>   |
|        |     | <ol> <li>各デバイスについて、[ディスク使用] を選択し、有効な .inf ファイルを参照します。</li> </ol>                                     |
|        |     | ホストのシステムタイプに応じ<br>て、適切な 32 ビットまたは 64<br>ビットの .inf ファイルを選択して<br>ください。                                 |
|        |     | 3. [OK] > [次へ] を選択します。   |
|        |     | <ul> <li>デバイスがネットワークで使用できない場合は、[デ<br/>バイスなしでドライバーをインストール]&gt;[次へ]<br/>を選択します。</li> </ul>             |
|        |     | <ol> <li>各デバイスについて、[ディスク使用] を選択し、有効な .inf ファイルを参照します。</li> </ol>                                     |
|        |     | ホストのシステムタイプに応じて、適切な 32 ビットまたは 64<br>ビットの .inf ファイルを選択してください。   |
|        |     | 2. ドライバーを1つ以上選択します。  |
|        |     | ・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>、<br>検索ボックスでドライバー名の入力を開始します。   |
|        |     | 3. [次へ] を選択します。  |

- 2 各ホストのデバイス設定を確認します。
  - 「選択されたプリンターモデル」で、各項目を選択して設定を編集しま す。
  - [共通設定]を選択し、ホストに依存しない設定を構成します。

初期設定

[はい] を選択した場合、.kxp ファイルを参照します。ファイルを アップロードした後、使用可能なプロファイルからオプションを選 択できます。 [いいえ]を選択した場合、初期設定のプロファイルは変更されません。

プラグイン

1つまたは複数のオプションを選択します。

コメント

カスタマイズされたメモを共通設定に追加します。

開く

構成設定ファイル (.kvp) を参照します。

保存

共通設定を構成ファイルにエクスポートします。

• 【競合】を選択し、特定の条件が満たされている場合のインストールの動作を 管理します。

| 条件               | オプション   |
|------------------|---|
| プリンターが存在する<br>場合 | 設定を保持<br>現在のデバイス設定は保持され、印刷<br>キューはインストールされません。              |
|                  | 上書き<br>現在のデバイス設定は新しい構成に置き換<br>えられます。                        |
| ドライバーが存在する<br>場合 | 何もしない<br>現在のプリンタードライバー設定は保持さ<br>れ、新しいドライバーはインストールされ<br>ません。 |
|                  | アップグレード<br>現在のプリンタードライバーは新しいバー<br>ジョンにアップグレードされます。          |
| 共有名が存在する場合       | 末尾に数字を追加<br>追加の文字が既存の共有名に追加されま<br>す。                        |
|                  | 失敗<br>デバイスはインストールされません。                                     |
|                  | 共有なし<br>デバイスはインストールされますが、共有<br>がオフになります。                    |

| 条件                | オプション  |
|-------------------|--|
| ポートが使用可能でな<br>い場合 | ファイル、 <b>LPT1</b><br>選択したポートでインストールが試行され<br>ます。<br>失敗<br>デバイスはインストールされません。 |

- .kvp ファイルからデバイス設定を追加するには、【インポート】を選択しま す。
- 現在のデバイス設定を.kvpファイルとして保存するには、【エクスポート】を選択します。
- **3** [次へ] を選択し、設定を確認します。
- 4 [完了] を選択します。
- 結果を確認します。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - .txt ファイルに結果を保存するには、[エクスポート] を選択します。
  - [OK] を選択します。

# プリンタードライバーをアップグレードする

1 選択したビューに応じて、次を実行します。

| ビュー         | アクション  |
|-------------|--|
| デバイス<br>ビュー | <ul> <li>a. 1つまたは複数のデバイスを選択し、[デバイス]&gt;[拡張機能]&gt;[ドライバーをアップグレード]を選択します。</li> <li>b. 1つ以上の接続されているホストコンピューターを選択し、[次へ]を選択します。</li> <li>ログイン情報の提供が必要になる場合があります。</li> </ul> |
| ホストビュー      | 1 つ以上の接続されているホストコンピューターを選択<br>し、【ホスト】 > 【ドライバーのアップグレード】 をクリックし<br>ます。  |

- 2 各ホストでアップグレードするプリンタードライバーを1つ以上選択し、[次 へ]をクリックします。
- 3 各デバイスの [ディスク使用] を選択し、有効な .inf ファイルを参照します。



**4** [OK] > [次へ] を選択します。

5 設定を確認し、[完了]を選択します。

結果を確認します。

- 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
- .txt ファイルに結果を保存するには、【エクスポート】 を選択します。
- [OK] を選択します。

プリンタードライバーをアンインストールする

1 選択したビューに応じて、次を実行します。

| ビュー         | アクション  |
|-------------|--|
| デバイス<br>ビュー | <ul> <li>a. 1つ以上のデバイスを選択し、[デバイス]&gt;[拡張機能]&gt;[ドライバーをアンインストール]を選択します。</li> <li>b. 1つ以上の接続されているホストコンピューターを選択し、[次へ]を選択します。</li> <li>ログイン情報の提供が必要になる場合があります。</li> </ul> |
| ホストビュー      | 1 つ以上の接続されているホストコンピューターを選択<br>し、[ホスト] > [ドライバーのアンインストール] に移動しま<br>す。   |

2 各ホストでアンインストールするプリンタードライバーを1つ以上選択し、[次へ]をクリックします。

Fライバーを選択すると、関連付けられたキューも選択されます。

3 設定を確認し、[完了]を選択します。

**4** 結果を確認します。

- 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
- .txt ファイルに結果を保存するには、[エクスポート] を選択します。
- [OK] を選択します。

# 追加のプリンタードライバーバージョンをインストールする

ホストコンピューターにインストールされた 32 ビットまたは 64 ビットのプリン タードライバーで、別のバージョン (それぞれ 64 ビットまたは 32 ビット) の追加ド ライバーをインストールできます。



1 ホストキュービューで、1つまたは複数のキューを選択します。

- 2 選択肢を右クリックし、【追加ドライバーをインストール】を選択します。
- 3 各デバイスについて、[ディスク使用] を選択し、有効な .inf ファイルを参照し ます。

■ 適切な 32 ビットまたは 64 ビットの .inf ファイルを選択してくだ ✓ さい。

- **4** [OK] > [次へ] を選択します。
- 5 設定を確認し、[完了]を選択します。
- 結果を確認します。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - .txt ファイルに結果を保存するには、[エクスポート] を選択します。
  - [OK] を選択します。

追加されたプリンタードライバーは、いずれのホストビューにも表示されませんが、 アンインストールまたはアップグレードすることができます。

プリンタードライバーまたは印刷キューを表示する

ホストのプリンタードライバーまたはホストの印刷キューを表示するには、ホストに接続している必要があります。

- ホストビューで、ホストを右クリックし、以下のいずれかのオプションを選択 します。
  - 【プリンタードライバーの表示】
  - [印刷キューを表示]

ログイン情報の提供が必要になる場合があります。

2 [更新] を選択してリストを更新するか、[OK] を選択します。

ホストログイン設定を変更する

- 1 ホストビューで、ホストを選択し、[ホスト]>[ホストログイン設定]に移動します。
- 2 【ホストへのアクセス時にこのログインを使用する】を選択し、以下の項目を指定します。
  - 【ユーザー名】
  - [パスワード]
  - ・ [ドメイン]
- 3 [OK] を選択します。

ドメイン管理者のログイン設定を選択する

ホスト情報とキュー情報を取得したり、リモートコンピューターを設定したりするた めに、管理者ログイン権限を設定します。

- ドメインの管理者ログイン権限が設定されていない場合、ホストの追加 時またはプリンタードライバーの管理時にダイアログボックスが表示され ます。セキュリティー上の理由から、アプリケーションを終了すると情報 は削除されます。
- 1 任意のビューで、「ホスト1>「ドメイン管理者ログイン設定」をクリックしま す。
- 次のいずれかのオプションを選択します。
  - [現在の Windows ログイン設定を使用する]
  - 【ドメイン管理者ユーザー名とパスワードを指定する】



3 [OK] を選択します。

ホスト情報をエクスポートする

- 1 任意のホストビューで、1つまたは複数のホストを選択し、「ファイル」>「エク スポート]>[ホスト] へ行きます。
- エクスポートの詳細を入力します。
  - ファイルの場所
  - ファイル名
  - ファイルの種類
- 3 [保存] を選択します。

デバイス設定を構成する

- 任意のホストビューに移動します。
- 2 ホストビューに応じて、1つまたは複数のホスト、プリンタードライバー、ま たはキューを選択し、[ホスト] > [プリンター設定] に進みます。

```
ホストのプリンタードライバーを管理するには、ホストコン
ピューターに接続している必要があります。
```

該当する場合、ホストコンピューターにある1つまたは複数のプリンタードラ イバーを選択し、[次へ]を選択します。

- 3 各ホストのデバイス設定を確認します。
  - 「選択されたプリンターモデル」で、各項目を選択して設定を編集しま す。

- .kvp ファイルから構成設定を追加するには、[インポート] を選択します。
- 現在の構成設定を.kvp ファイルに保存するには、[エクスポート] を選択します。
- 4 [次へ]を選択し、設定を確認します。
- 5 設定を適用するには、[完了]を選択します。
- 6 結果を確認します。
  - 必要に応じて、すべての問題を解決し、プロセスを繰り返します。
  - .txt ファイルに結果を保存するには、[エクスポート] を選択します。
  - [OK] を選択します。



# お問い合わせ先

#### 本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 200.0120-534-881 受付時間(月~金 10:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く) 当社製プリンタードライバー/ソフトアプリケーションの操作に関しては

サポートセンター 000 0120-229-330

受付時間(月~金 9:00~17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)



〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6112 ホームページ https://www.riso.co.jp/